

2012年度

## 防災教育チャレンジプラン活動報告会



実践団体（一般枠 No.4）

## 最終報告会 成果発表資料

千葉県立東金特別支援学校

# 防災コミュニティ＆コミュニケーション ～北之幸谷から山武郡市へ 「防災ユニバーサルねっと」を広げよう～



「みんなの命を守りたいと思いが叶い」  
吉本興業音楽出版・COWCOWより  
『あたりまえ体操/COWCOW』の  
替え歌作成の許諾を得ました

「東北訪問で教わった言葉を歌詞に入れ  
東北に届けたいという思いが叶い  
イラスト入りの記事になりました」  
河北新報より転載の許諾を得ています  
2013.1.11「防災・減災のページ」より

## 資料目次

- P 1～3 プレゼン発表資料  
P 4～13 「自助・備えのチャレンジ」
  - ・安全教育確認研修
  - ・避難訓練
  - ・頭を守ること実態調査 など

P 14～16 ・防災マルチパーティション 防災ピクトグラム

P 17～23 ・生活単元学習
  - ・選択情報
  - ・総合的な学習の時間
  - ・絵本づくり 合唱団

P 24～39 ・岩手県、宮城県の学校訪問
  - ・あたりまえ体操／COWCOW の替え歌（許諾済）
  - ・旭市（飯岡）の仮設住宅訪問

P 40～50 「共助の連携強化」
  - ・長寿会に会いに公民館へ 警察署へ
  - ・防災をテーマとした地域との交流Ⅰ（避難所開設や炊き出し）
  - ・防災をテーマとした地域との交流Ⅱ（寄宿舎）
  - ・防災をテーマとした地域との交流Ⅲ（長寿会）
  - ・防災をテーマとした地域との交流Ⅳ（仮設住宅のシスターズ）

P 51～64 「公助の連携拡大」
  - ・東金地域防災教育ネットワーク会議の設置
  - ・九十九里版津波避難に関するガイドラインの作成協力
  - ・防災教育講演会
  - ・災害時要援護者支援ネットワーク会議の設置（ヘルプカード）
  - ・災害時要援護者の避難を考える講演会とグループ討議
  - ・災害時情報カード（家庭の備え）

P 65～69 「コミュニケーション」
  - ・自主通学生徒集会 災害を題材に話し合いのルールを学ぶ
  - ・生徒会代表生徒による 岩手県・宮城県の学校訪問
  - ・児童生徒会による 旭市飯岡地区の訪問（仮設住宅 中学校）

P 70～76 「実践の広がり」
  - ・新聞、書籍、テレビ等での紹介
  - ・コンテスト、表彰、研修会での紹介

### その他資料（別冊）

- ・防災教育計画 学校安全計画
- ・健康安全チェックシート 防災教育学習内容一覧
- ・災害時情報カード（引き渡し 通学 土日）
- ・災害時の医薬品預かり
- ・指導案（避難所開設 防災集会 防災コミュニケーション）
- ・ヘルプカード
- ・頭を守ること調査 東北訪問資料
- ・防災教育ネットワーク会議設置要項
- ・新聞記事 指導資料（県 文科省などへ）あたりまえ体操の解説

# プレゼン発表資料

千葉県立東金特別支援学校

防災ガール & 防災ボーイ

避難は  
頭をまもる  
くつをはく

災害時要援護者を  
つないでいいたら

グループで  
話し合いながら  
パーティションの端材が  
幼稚園サイズ！！

北之幸谷長寿会と  
旭市飯岡のシスターズ&ボーイス

92歳の踊りの先生  
の元で 毎週民謡などの練習をしている

軍手人形劇「仮設  
住宅の暮らし」  
本校で作ったパー  
ティションを活用

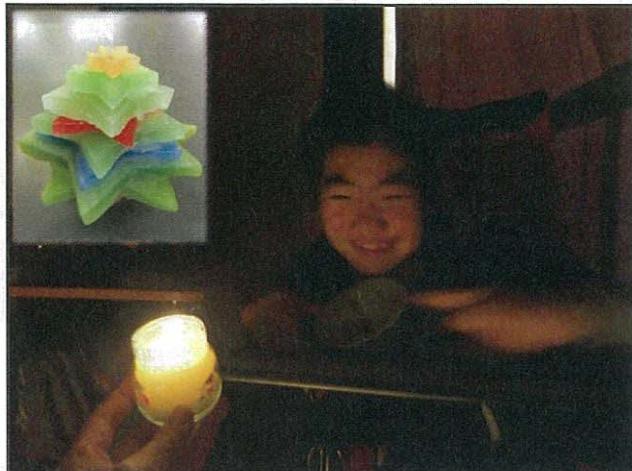
東北から嬉しい手紙が  
やまもも祭で紹介

東金特別支援学校のみなさん  
7月には遠いところ本校へ来てい  
ただきありがとうございました。たくさん  
の作業製品をいただき嬉しかったです。ありか  
普段の訓練が大事  
協力することが大事  
これからも交流を

花巻清風支援学校寄宿舎  
ひまわり会会長 駒場慎也

中学部3年(生活単元学習)  
『オリジナルキャンドル作りを通して防災を考えよう』

電気が通わなかった震災直後の生活を振り返り  
キャンドル明かりのみで非常食を食べてみよう



### 【二年間の学び】

中2の時の この場面  
を振り返って

「僕は みんなから  
離れてしまった」と反省



机の下の椅子を引き出  
して 長寿会の方に  
「ここへ！！」と  
『離れたけど 最善を  
尽くしたから◎だよ』  
「ありがとうございます」

### 中学部2年(特別活動)

『防災カルタをしよう』写真カードを使った  
クイズ形式でコミュニケーションを高めながら  
楽しく防災を学ぶ



見て 聞いて 感じて  
身体で  
「ぼうさい」を  
真似ぶ 学ぶ

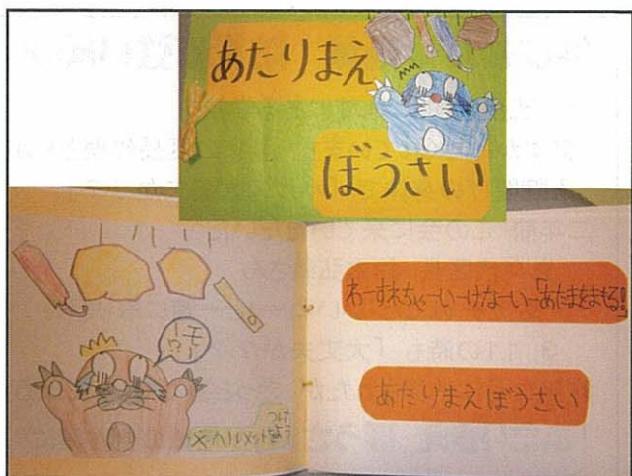
### あたりまえぼうさいプロジェクト♪

- ・ライバルの根知小学校さんに負けないように
- ・10月の林委員長「あたりまえ」歴史的教訓
- ・小学部、中学部も みんなでできる
- ・生徒会 安井君のプレッシャー「先生 東北  
の人に教えてもらった言葉 どうやって広めますか！？」

それを東北に返したい

- ・テレビで見た あたりまえ体操／COWCOW
- みんなの みんなへの想いをつなぐ





## あたりまえ体操 紹介先

- ・九十九里町立片貝幼稚園(千葉)
- ・岐阜県立加茂特別支援学校
- ・全国特別支援学校知的障害者PTA連合会
- ・シンサイカルタ作成者 清水さん武田さん(仙台)
- ・毎日新聞 千葉テレビ
- ・河北新報 每月11日に「防災・減災のページ」という特集を掲載 2013. 1. 11は本校の取り組みを紹介していただきました

**【小学部 中学部の音楽の授業でも実践】**

## 「あたりまえ体操/COWCOW」ぼうさい編♪

あたりまえーあたりまえーあたりまえ防災♪  
地震のときは「だんごむし！」あたりまえ防災  
忘れちゃいけない「あたまをまもる！」あたりまえ防災  
逃げるときに大切なのはー「くつ！」あたりまえ防災  
海の近くで地震がきたら  
**「とにかくにげっぺ！」**あたりまえ防災  
どこににげっぺー「はやく！たかく！」あたりまえ防災  
「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」  
「命を守る」あたりまえ あたりまえ  
あたりまえぼうさい♪♪ **「かんぱっぺす！！」**

※株式会社吉本音楽出版(作家及び実演家であるCOWCOWさん)の許諾を得て替え歌を使用しています。

みんなにお願い  
立って 手をつないで  
ひとつの「輪 和 ○」に  
なって  
一緒に歌ってください

## 防災教育チャレンジプランテーマソング♪

手をつなごう みんなで♪  
大きな 一つの輪を作ろう♪  
元気に チャレンジ！ 笑顔で チャレンジ！  
みんなで ぼうさい♪  
みんなの夢が あつまって  
いのちをまもって わらい声  
みんなの本気 もっともっと ちからを合わせよう！  
手をつなごう みんなで♪  
大きな一つの 輪を作ろう 元気に チャレンジ！  
笑顔で チャレンジ！ あたりまえ ぼうさい♪

※この替え歌は東金特別支援学校の許諾を得て使用しています。

## はじまりは地域 防災で強い絆が

代々区長さんは 地域にある学校を  
気にかけてくれています 農家の区長代理さんが  
入院明けの身体で「ハウス大丈夫か？？」  
二年前 この会に来ていただいた  
先々代区長 鈴木弘義さん  
「防災チャレンジいいねー」と一緒に取り組み  
3.11の時も「大丈夫か？？」  
昨年12月に他界されたが きっと喜んでくれている  
「あたいまえ ほうさい」が地域の合言葉に

## ここから 実践報告



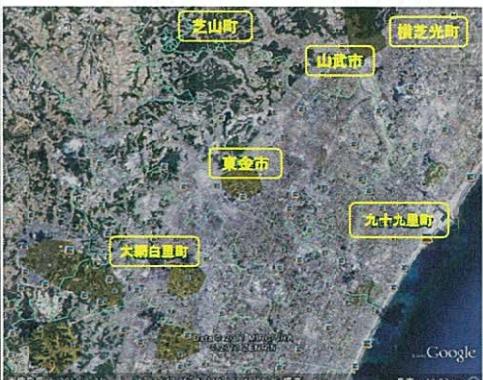
### 防災教育チャレンジプラン

**防災コミュニティ  
&コミュニケーション**  
～北之幸谷から山武都市へ  
「防災ユニバーサルねっと」を広げよう～



千葉県立東金特別支援学校

### ＜本校の学区＞



- ・宮城県  
名取市と  
似た地形
- ・海まで  
約8km
- ・海拔  
約8m

### ＜空からみた東金特別支援学校＞



### 3.11 地震発生直後の様子

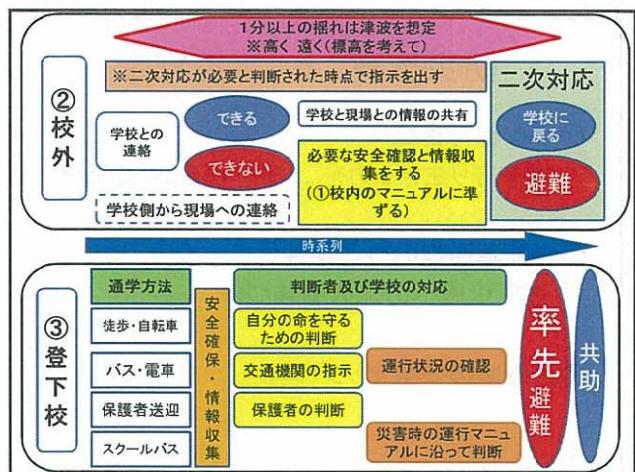
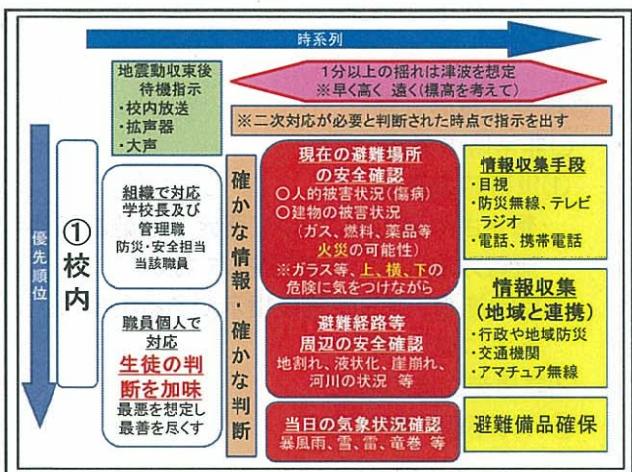


## 自助・備えのチャレンジ

### 防災マルチパーティション 防災ピクトグラム

- 授業を通して、障害のある児童生徒に対する防災教育のポイントを探る(頭を守る)。
- 一人一人の障害に応じた防災用具の開発と、開発した防災用具の地域での活用方法を検討する。
- 危険個所や場所ではなく、安心マークの検討をする。(安心するデザインや色)

### 初期対応マニュアル 職員研修 避難訓練 備え



## 4／3安全教育確認研修 (生徒を迎える前に)

- 地震発生からの避難を想定
- 避難放送、経路、避難場所、本部設置、点呼の方法等の確認
- 各担当より
  - 「学校安全について」「火災の対応」
  - 「大地震発生時の対応」「緊急事故対応」
  - 「スクールバス運行時の対応」「不審者対応」
  - 「行方不明時の対応」

## 職員室





## 防災教育と学校安全

- 学校教育目標に  
命を守り生きる力を... 命を守ることを明記
- 自転車通学の許可条件に  
傷害保険への加入義務づけ
- 保健室の安全マップ(怪我)

### ◎校外学習の計画に

#### ○非常時の対応として

##### ①災害時の場合

- ・想定される災害について所定の避難経路や  
避難方法について確認しておく
- ・見学施設、宿泊施設の指示がある場合は、  
それに従う 等

##### ②急患発生時の場合

##### ③行方不明が出た場合

## スクールバス

- ・沿岸部を走るスクールバスが大津波警報が出た時に内陸部に逃げるためのルート確認
- ・4台それぞれにある携帯電話に県から配信される「ちば防災メール」に登録 沿岸部学区の市町村は緊急速報「エリアメール」に加入
- ・スクールバスの緊急事故対応訓練 非常口の操作方法の確認も7/27



## 備え(緊急カード)連携 課題(狭い通路)



## 4/24 火災想定の避難訓練



高等部生徒86名 避難から点呼まで4分  
小学部を含め計162名で6分



### 頭を守ること実態調査

○防災頭巾をかぶるにあたって児童生徒の様子

- ・放送(警報)を聞いて自分でかぶった
- ・教師の言葉の指示でかぶった
- ・教師の身振りと言葉の指示でかぶった
- ・教師が示したカードや写真を見てかぶった
- ・教師が渡すとかぶった
- ・教師がかぶせた(そのままかぶれた)
- ・教師がかぶせた(嫌がり押さえながら避難)
- ・パニック等でかぶせることができなかつた

	小学部	中学部	高等部	計
放送で	2	5	50	57
言葉で	5	18	16	39
身振りと言葉で	6	1	4	11
友だちを見て	0	5	3	8
教師を見て	0	0	0	0
写真等を見て	0	0	0	0
渡したら	3	0	0	3
教師がかぶせた	21	4	11	36

### 防災頭巾について反省する中で

- ・サイズが合わない子がいた(小さい)
- ・避難の最中に防災頭巾が前にずれて目隠し状態になってしまった子がいた(大きい)
- ・頭巾の装着支援に時間がかかった

【保護者と防災教育について話すきっかけ】

自分で35% 指示で35%  
教師が移動しての支援 30%

### 具体的な支援について

- ・防災頭巾からヘルメットへの移行



支援の視点から  
「かぶりやすさ」  
材質的に  
「落下物に対する強度」

## 靴を脱いで遊んでいる子も

### 【1次避難】

- 落ちてこない(頭を守る意識)
- 倒れてこない(分かる児童生徒にも)
- 移動してこない(職員の意識として)

### 【2次避難】 靴を履いて

## 4／28引き渡し訓練 (災害時情報カードの確認)

昨年度  
3学期  
↓  
今年度は  
1学期に



## 今までの 災害時情報カード(引き渡し)をIとして IIとIIIを加える

- ・災害時情報カード I ~ III
  - I 引き渡し確認カード
  - II 通学用
  - III 土日休日用
- ※ 保護者の勤務地が遠隔地の場合の  
対応についても加える
- ※ ヘルプカードや要援護者登録についても質問

## 寄宿舎防災訓練(火災)5／28



## 児童生徒会の全校集会

- ・6／1交通安全集会(警察署) 姉妹学級で参加



(次回の10／5は防災集会)

## 警察署との連携

- 交通安全教室で
- 自主通学生への交通指導で
- 防災安全マップの情報収集で

千葉県警察から情報提供されている

- 不審者情報、交通事故発生、犯罪発生マップ等と  
e防災マップを重ね合わせる
- ・北之幸谷防災安全マップ
  - ・通学路防災安全マップ(駅から学校)
  - ・我が家防災安全マップ
  - ・私の防災安全マップ(余暇活動を含める)

## 不審者侵入対応研修8／31

東金警察署 防犯担当者

- ・生徒会が防災安全マップ作りで訪問した時に話していただいた方
- ・半身に
- ・万能ではない
- ・かばんには何が入っているかわからない
- ・相手の嫌なところに



## 地震津波想定の避難訓練6／27

○その日のうちに反省(一次避難 二次避難 移動避難スペース )

- ・一次避難 教師自身の身を守る意識
- ・放送機器が壊れた時のために拡声器の備え
- ・外階段の使用の検討もした方がスムーズでは
- ・長時間の避難になった時に心配(自閉的な傾向)スペースや落ち着けるもの寒さ対策の常備
- ・保存食が1Fに保管してある 3Fにできないか
- ・地域の方が避難してきた時の対応

## 訓練の災害想定(内容)を考える

- ・防災訓練や避難訓練でも明確な設定が必要  
防災教育コーディネーターとしての役割ができる人材の育成

防災訓練(シミュレーション)の内容を具体化しないと 対応が多岐にわたってしまう 可能な限りの想定外を入れ実践の積み重ねと議論をすること

6／27(水)

### 地震・大津波想定避難訓練について 設定

- ・東日本大震災の経験から、大地震＝大津波は容易に想像される。群馬大学の片田教授の話の中に出てきた「アウターライズ地震」は、ゆっくり大きく動くため体感地震はない。しかし、大津波が来る。
- ・今回の想定は 震度3 しかし、長時間の揺れが来る(1分30秒) その場で一次避難
- ・時間を置いて大津波警報発令 二次避難

※児童生徒には緊急地震速報が流れることと避難訓練を行うことを事前に伝えておく

(朝の会あるいは10:30～の時間で)

1. 10:45～11:00の間に緊急地震速報を流す  
(教頭からの放送を待たずに避難 落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所で 頭を守ることを意識する)
2. 教頭から避難の放送
3. 1分30秒後、揺れがおさまる 安全を確認し教室に待機の指示の放送(長い揺れの場合は大津波の危険)

4. 本部が大津波警報を確認したが放送機器が使えないとなった

大声で避難の指示(各々3階がある校舎に避難 地域住民の避難想定はしない)

避難経路についても、今回は震度3の想定であることから中空通路を通らない等の指示はしない。

また、電源が落ちてエレベーターが使えないことも想定しない)

※小学部と高等部重複と高3はA棟へ 中学部と高等部1、2年はB棟3階へ避難

教頭二人はA、B棟へ分かれ点呼(トランシーバーにて連絡を取り合う)

5. 点呼が終了した時点で校長の指示により各教頭より各棟にて解散の指示をする

※その放課後 職員研修として、エレベーターが使用できない想定で、車椅子の児童生徒を3階まで運ぶ訓練を行う

※ 学部ごとに行い、職員室にて報告する。また、大地震が起き、電源が落ちた時の想定は複雑になることを確認する。口頭で反省を行いアンケートは実施しない。

○学校が置かれている環境

(標高等の地形 避難の際の道路状況  
移動手段の確保 人口密度 等)

○災害規模 大きさ(震度 波高 等)

○発生日時と天候

(雨天 休日 登下校時 夜間 等)

○被害の大きさ(死者 怪我 死傷者的人数  
建物 ライフライン 通信 等)

○地域・行政の協力体制

(避難所運営の主 キーマン 協定の有無  
物資の供給ルート)



津波避難訓練後に  
職員の車椅子運び体験

- 小学部 子どもを抱いて3Fまで運ぶ練習を授業中に行う
- 中学部 4人で運ぶ 有事には人が足りないのでどうするか 人が足りない時は抱えて運ぶ
- 高等部 4人で運ぶ 向きと角度の問題 車椅子の構造によっても違う
- おんぶ紐の備えも必要ではないか

頭を守ること調査②回目

①回目→②回目

自分で 35%→40%

指示で 35%→30%

教師が移動しての支援 30%→30%

避難行動(机の下等) 調査

自分で 54%⇒行動で覚えることが大切

指示で 22%

教師が移動しての支援 24%

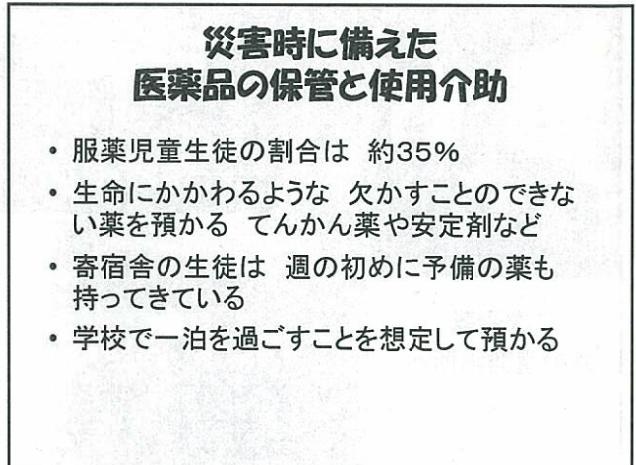
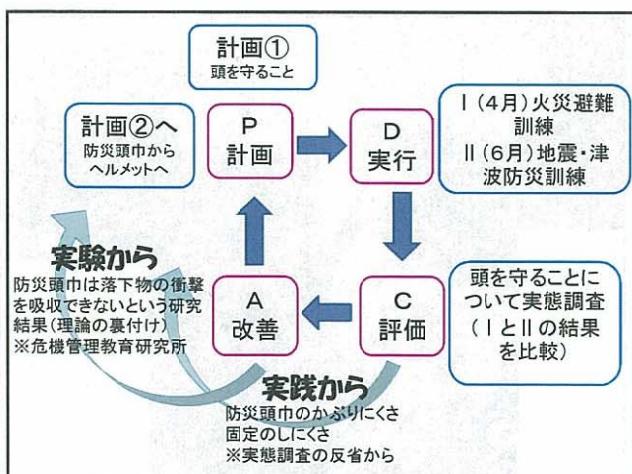
	小学部	中学部	高等部	計
放送で	2→2	5→8	50→55	57→65
言葉で	5→5	18→2	16→16	39→23
身振りと言葉で	6→4	1→5	4→3	11→12
友だちを見て 教師を見て	0→3	5→8	3→1	7→12
写真等を見て	0	0	0	0
渡したら	3→9	0→5	0→1	3→15

避難行動調査				
	小学部	中学部	高等部	計
自分で机の下へ	8	14	65	87
支援で机の下へ(言葉 身振り、カード等)	12	12	12	36
教師が移動しての支 援①手を引いて	14	6	3	23
教師が移動しての支 援②抱きかかえ	0	0	1	1

#### 【自由記述から】

- 歩行が不安定な児童2名を、職員1名で階段の支援するのは心配
- 見て避難できる子が多いので、赤色灯のようなるものがあるとよい
- ヘルメットを付けておけない車椅子なので持ち歩けない
- 机の下にもぐった時に頭が机から出ている生徒がいた
- 放送で落ち着かなくなり、机の下にもぐれない生徒がいた
- かぶり物や机の下にもぐることを嫌がる生徒がいる
- もぐると嫌がるため、ヘルメットをかぶった

- 車椅子にヘルメットを付けておくところがないという生徒もいる



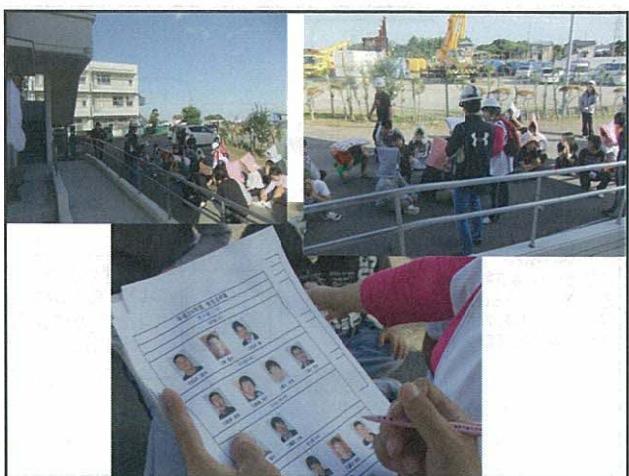
**災害時における  
医薬品の  
使用介助依頼書**

## 10/9 寄宿舎避難訓練（地震）

- 生徒分のヘルメットを準備する必要
- 引き渡しカードは学校に置いてある コピーを寄宿に置いておくことも必要
- 校外の避難場所が 校舎の横に決めてあつたが ガラス等が落ちることもある 再検討



それぞれの  
場所で  
頭を守る



### 職員研修①

#### 7/25災害図上シミュレーション訓練

- ・管理職を対象にした研修資料を使って若い教員に演習を(夏季休業中)
- ・校長先生の大変さ(短時間での判断の多さ)また責任の重さが分かった
- ・お互いの役割の中で 刺激をし合うことに「教頭先生 早く」

【あり得ない理不尽な情報や状況から判断をする練習をしておくこと】

### 職員研修②

#### 8/10女性用の防災リュック作製

参考:6/13NHKあさイチで放送

メインテーマ「女性のための非常袋」

専門家ゲスト

○国崎信江さん(危機管理アドバイザー)

○五十嵐ゆかりさん(聖路加看護大)

ポケットがたくさんついたベストは 小さな子どもがいるママや 重い荷物を持ってないお年寄りにもおすすめのこと

#### ～すぐに役立つ！防災リュックの作り方～



＜避難袋は二つに分けておくと便利＞

- ・今回は小さなもの リュックの作成(すぐに持ち出せる必要最低限のもの)
- ・大きなものリュック(バッグ)は 避難後自宅に戻った際に持ち出す第二のリュック

#### 重複障害の車椅子児童生徒の防災教育とは？？

### 「今」

「授業」で実践している中で防災教育とつながるものは？

自閉症スペクトラムの児童生徒で  
こだわりが強く よくパニックを起こす  
その子の防災教育とは？？

### 「今」

「授業」で実践している中で  
防災教育とつながるものは？

#### ・自立活動で

安心して 抱えられる おぶられる 姿勢づくり

過敏な感覚の軽減 股関節等の動き

それは 支援者を助けることになる **共助**

#### ・いつもと違う環境 いつもと違う時間

いつもと違う人 どのような支援(ぬいぐるみ等  
より具体的なもの)があるとよいか

落ちついていらることは 支援者を助け = **共助**

○意識さえ変えれば 防災教育は

いつでも どこでも 誰でも

○あいさつは 生活指導 道徳 キャリア教育

自立活動(コミュニケーション)の他に

防犯や減災にもつながるという視点

## 実体験ができなくても 追体験(ついたいけん)で

- ・見たものを(テレビやマンガ)  
自分のこととして考えていく習慣
- ・「信号は青で渡る」といっても  
突っ込んでくる車もいるし  
停電になったら信号はつかない  
教わったことが全て正しいとは限らない  
自分で判断できる力をつけよう
- 積み重ねで「先生 ○○君がトイレから出てきません」「先生 電車が3分遅れています」と学校に連絡が

## 授業で

### 防災ピクトグラム 防災マルチパートイション

## 防災ピクトグラム

- 「安心マーク」⇒【安全な場所・安心感の強化】
- 注意や危険のマークは、生徒によっては気を引くことになってしまう
  - 注意や危険な場所は、入り込めない状況(環境)を作り、安心で安全な場所に気を引く

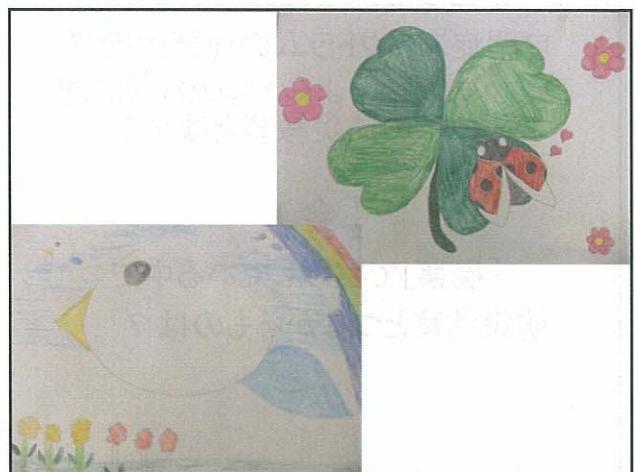
※安心キャラクターによる  
安心な教室、トイレ、階段、廊下、水道 等  
有事の際には、掲示物や写真等の視覚的情報を取り除き、安心マークを分かりやすくする

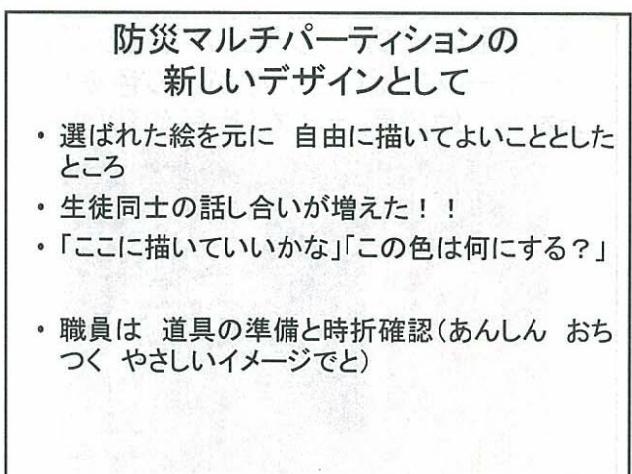
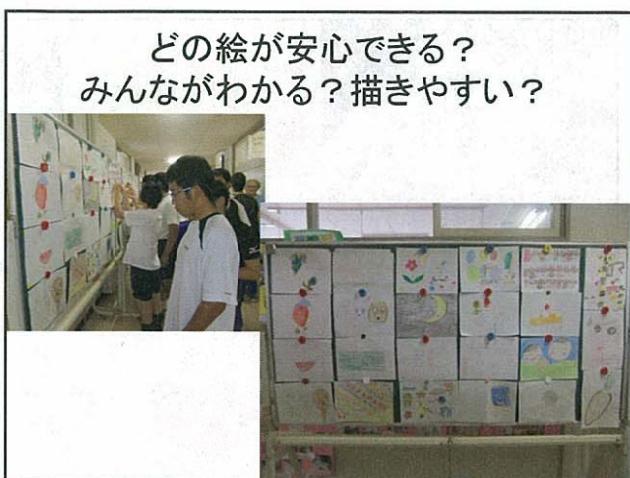
## 案内用図記号(ピクトグラム)

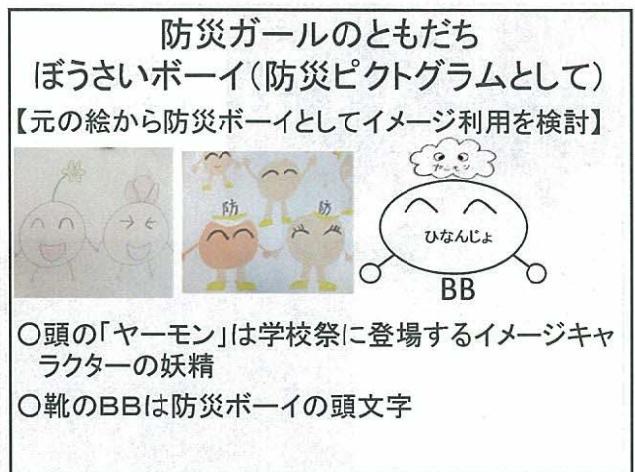
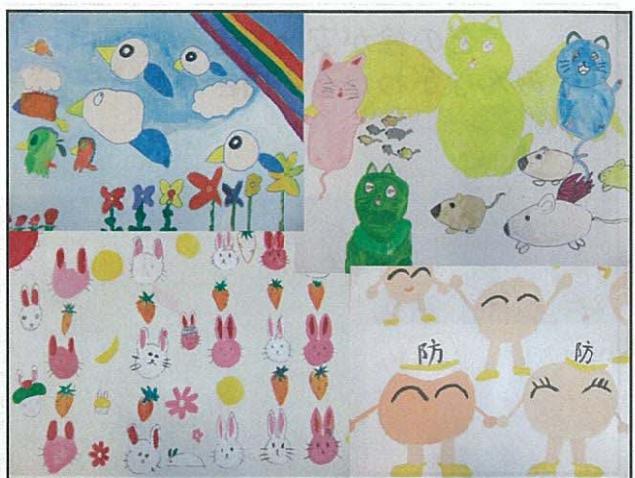
- ・JIS(日本工業標準)やISO(国際標準化機構)の規格による
- :禁止 義務行動
- △:警告(JIS:注意の意)
- :情報(指示を含む)



## 防災ピクトグラム(安心・安全マーク)







**避難所になったときのため(普段の授業でも)  
コミュニケーションカード**

○ないと困る

<衣>暑い 寒い <食>お腹がすいた のどがかわいた  
<意思>だいじょうぶ いやだ いらない  
<住> ここにいたくない ここにいなければならない  
<身体>いたい きぶんがわるい トイレ

○あると便利

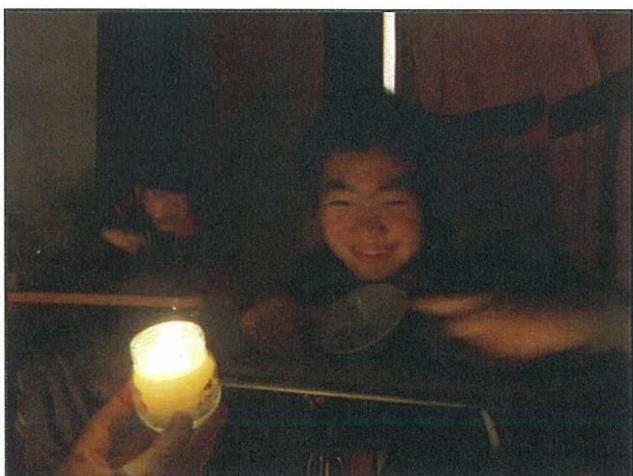
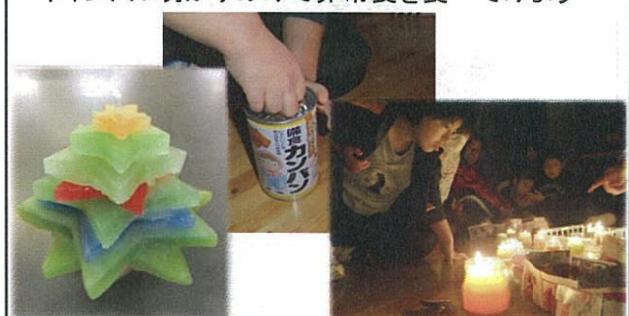
- ・要求している具体物の写真や絵カード  
(自分で選択できるように YES/NO)
- ・一緒に過ごす人の写真(いなければならない人)
- <意思>やって ちょうどい  
<行為>待つ 静かにする 立つ 座る 寝る
- ピクトグラムや写真カード以外のものとして  
・余暇で使用できる 本 積み木 ぬいぐるみ パズル など



いろいろな授業に防災を  
テーマとして入れる

**中学部3年(生活単元学習)**

『オリジナルキャンドル作りを通して防災を考えよう』  
電気が通わなかった震災直後の生活を振り返り  
キャンドル明かりのみで非常食を食べてみよう



中2の時のこの場面  
を振り返って  
僕は みんなから  
離れてしまったと反省



机の下の椅子を引き出  
して 長寿会の方に  
「ここへ！！」  
『離れたけど 最善を  
尽くしたから○だよ』  
『ありがとうございます』

## 中学部2年(特別活動)

『防災カルタをしよう』写真カードを使ったクイズ形式でコミュニケーションを高めながら楽しく防災を学ぶ



## 高等部選択情報 <防災クイズ>



### ぼうさい 防災クイズ

～地震が起きたら編～



### じしん お 地震が起きたら…



### せいかい 正解!!

じしん お あたま まも  
地震が起きたら、まず頭を守りましょう。

もんだい  
つぎの問題へ

### ざんねん 残念!!

ゆれているうちに逃げると危険です。落ち  
るもの あ きけん お  
てくる物に当たるかもしれません。

もんだい  
問題へもどる

ひなん とき  
避難する時は…



じじ  
指示にしたがつ  
ひなん  
て避難する。

ぜんりょく はし  
とも  
全力で走って、友  
だち お  
達を押してにげる。

せいかい  
正解!!

せんせい おとな  
しじ き  
あわてずに、先生や大人の指示を聞いて、  
しづ ひなん  
静かに避難しましょう。

もんたい  
つぎの問題へ

ざんねん  
残念!!

おさない。  
かけない。  
しゃべらない。  
もどらない。 を守りましょう。

もんたい  
問題へもどる

かじ とき  
火事の時は…



すぐに行ける

あたま くち はな まも  
頭と口・鼻を守る

せいかい  
正解!!

かじ とき あたま す  
火事の時は、頭だけでなく、けむりを吸わ  
ないように、ハンカチやタオルを当てましょ  
う。

もんたい  
つぎの問題へ

ぼうさい  
防災クイズ

じしん そな へん  
～地震に備えて編～



地震がおこる前に用意するものは…



スーツケース



リュック

防災クイズ

～応用編～



地震が起きたら危険な場所は…

正解!!

地震でライトが落ちてくるかも。

もっとさがしてみる

つぎの問題へ

正解!!

地震でガラスが割れて、破片が降つく  
るかもしれません。

もっとさがしてみる

つぎの問題へ

正解!!

地震で暖房が落ちてくるかも。

もっとさがしてみる

つぎの問題へ

せいかい  
正解!!

じしん とき お  
地震で時計が落ちてくるかも。

[もっとさがしてみる](#)

[もんだい  
つぎの問題へ](#)

せいかい  
いくつ正解できたか?

じぶん いのち じぶん まも  
自分の命は自分で守ろう。

昨年は 高等部 総合的な学習の時間  
演劇グループで

欽ちゃん&香取慎吾の全日本  
仮装大賞に応募

書類審査を通り二次予選へ  
仮装のタイトルは「東北パフェ」



今年は 高等部総合的な学習の時間  
釜石東中の「てんでんこレンジャー」を  
パクリ いや リスペクトを目指して  
製作しました(^◇^)

防災劇 もしもに備えて♪



必要な物は こっちだったねー



- ・昨年の夏に聞いた 釜石の子たちの思いから  
『普段のことをあたりまえに行つただけ』  
『今日ここで分かち合ったものを、それぞれが  
また別の誰かと分かち合いを広めていくこと。  
そうやって語り継がれたものがいつか、また誰  
かの命を救うかもしれない。』
- ・「私たちが作った物が災害時には役に立つと思  
うとうれしい。」誰かの役に立つということは 社  
会の役割を担うことになる 特別支援学校の児  
童生徒が役割を担えるようにすることが 大人  
の教師の責務 使命である それが子どもたち  
の自立に向けての第一歩

### 一人ひとり 一つひとつを大切に

- ・パーティションやピクトグラムに採用されな  
かった絵
- ・でも安心、かわいい、落ちつく、やさしい思い  
をもって描いた
- ・一つの絵本にしてみようか
- ・ベニヤ素材のパーティション 小学部サイズ  
は115 残った板は
- ・幼稚園児にピッタリサイズ ままごと遊びに  
秘密の部屋に

**絵本にしてみようか**

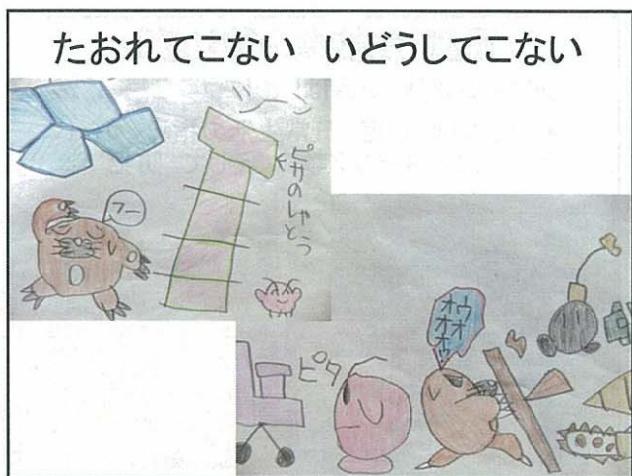
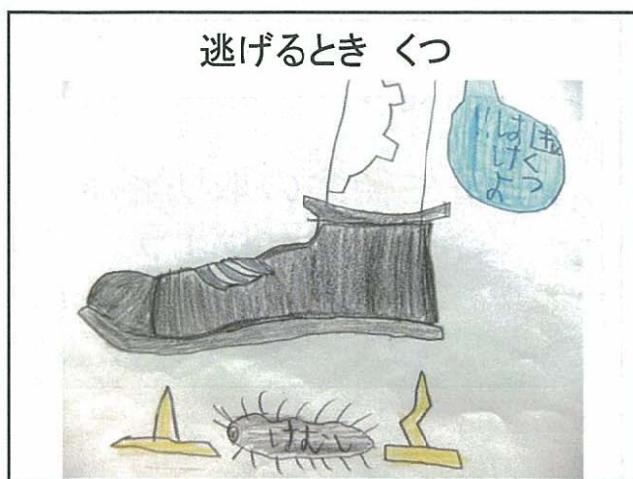
【城西国際大学 空とぶクジラ大賞 全国高  
等学校 絵本コンテスト】

○パーティションの  
やさしい絵を

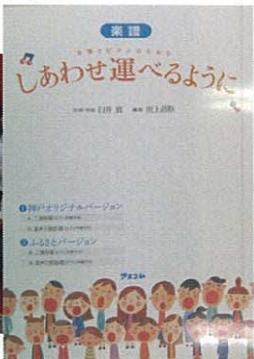
○あたりまえ防災♪の歌から

### 地震 だんごむし あたまを守る





## 高等部卒業生を送る会 3月 やまもも合唱団で



児童生徒会の取り組み  
未来につなげよう  
東北＆東金

### 児童・生徒会の取り組み

- ・あいさつ運動 毎月はじめに
- ・あいさつは 道徳 日常生活の指導 コミュニケーション キャリア教育 そして 防犯



### 児童・生徒会の取り組み

#### 【自助】

被災地から学び

自分たちの生活に活かす

#### 【共助・公助へ】

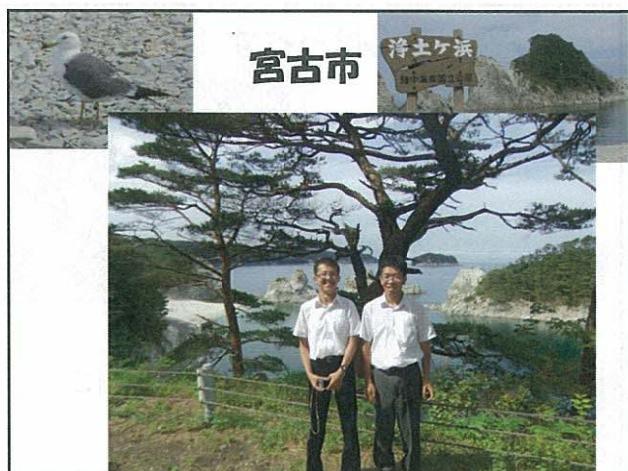
地域の長寿会や警察署との連携  
から防災安全マップ作りへ

### 岩手県・宮城県の学校訪問

2012.7.17～19

千葉県立東金特別支援学校  
高等部生徒会代表 伊藤雄太 安井拓人  
教諭 滝川 猛

宮古恵風支援学校 釜石祥雲支援学校  
釜石市立東中学校 花巻清風支援学校  
石巻支援学校



## 田老漁港

- タクシーの運転手さんが案内を



- 水門を閉めようとして消防団が
- 堤防の上から津波を見ていた人たちが



自衛隊⇒建設業者  
⇒警察の巡回(治安が悪くなり)



## 宮古恵風支援学校



学校案内(備蓄 発電機 作業製品)  
「がんばっぺす」



## 備え

- 安定型の発電機 ソーラーによる発電機 医療的ケアが必要な生徒もいる
- スクールバスも含め 年に4回避難訓練を行っている
- 人数分の防災頭巾を教室に備えてある
- メール配信サービスに登録している
- 車椅子の人たちは全て教室が一階ですぐに外に出られる

## 世界からの メッセージ



## 震災から 復興に向けて

- 長い生徒で5日間学校で避難生活 寒かったけど暗幕が暖かかった 家を流されて仮設住宅に住んでいる人もいる こわかったこと すごかつたこと 見たことを仲間に伝えてほしい
- 悲しいことが続いたが 今は大丈夫 笑顔で元気に頑張っています
- 駅前に花をかざる奉仕活動をしている
- 隣に入所の児童施設があり 備蓄も多くあり 炊き出し等の協力もあった

## 感想

- 田老の防波堤がくずれ形が変わっていて 階段の手すりや街灯もぐしゃぐしゃになっていた 津波のすごさを物語っていた
- スクールバスの訓練を行っていることが印象に残った
- ガソリンや発電機を備えていて いつ地震が来ても大丈夫なように備えていて すごいと思った
- ガソリンが いつなくなるのか わからないのは 寒い中では すごく心配だと思う

## 釜石市



- 根浜(ねばま)海岸の砂浜がなくなってしまった 杉は枯れてしまう



- 避難場所に指定されていて避難したが



## 釜石祥雲支援学校



## 学校案内(震災の時の話)

- 高等部は病院の二階に



## 備え

- 車椅子等の生徒は エレベーターが使用できないことを想定した避難訓練を行っている  
車椅子は職員3人で下ろし 歩行器を使用する生徒は両脇を抱えて階段から下りる
- ヘルメットや防災頭巾を全員分用意
- マニュアルの見直し
- 寒さ対策として スクールバス利用  
レスキューシート 発電機
- 懐中電灯や無線機

## 作業学習等

- 金曜日はカレーライスを作り  
職員に この材料が震災時に役立った



## 震災から 復興に向けて

- 立地が山の方であったため 津波の被害はなかった
- 家族が亡くなった生徒や先生がいる 心の傷は消えない ケアが大切な時期
- 長い避難生活 ゲーム等
- 3~4日経ってから避難所として認められ物資が入ってくるようになった
- 職員は 学校で食べる方が裕福な状態であり大変であった
- 親戚の家で12人くらいで過ごした 沿岸が通れず山の方から遠回りをして学校に通った
- 実習先や進路先が不足している

## 感想 病院が近くにあってよかったです メッセージを僕たちも



## 釜石市立東中学校

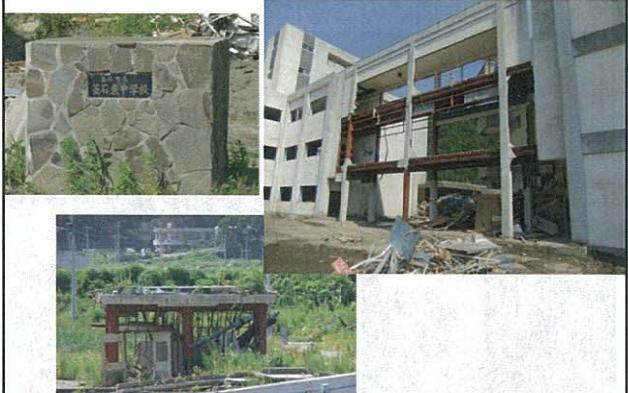


- ・仮設校舎(4年後に本校舎) 体育館は小学  
校と共用



- ・安否札は区長さんや地域の人と一緒に回り  
独居老人宅の情報も
- ・子どもの命を預かっている  
【教育の大切さ】【地域とのつながり】  
【真剣に取り組む姿勢】奇跡ではなく当たり  
前のこと

## 旧 校舎



## 鵜住居小学校



群馬大の片田先生に  
避難の様子の写真提  
供をした 高村さん  
千葉国体のシャツを  
着て「俺も頑張る」



- ・車がすごかった 海へ戻ろうとしていた人を追い返した
- ・最初は煙が... 何だかわからなかった
- ・流された家はバリアフリー 奥さんは介護が必要だった 震災の前年に亡くなり自分は生かされた

## 釜石東中学校から伝えたいこと 防災フェア2011より

<防災教育 H20～>

「EAST」レスキュー

East: 東中学生

Assist: 手助け

Study: 学習する

Tsunami: 津波

<目指すもの>

1. 自分の命を自分で守る
2. 助けられる人から助ける人へ
3. 防災文化の継承



○津波を眼前で見ると 現実は思えない…

地震の地鳴りの音

地面家がみしみしと壊れる音

人の叫び声

○津波が去ったあと

がれきの風景の中に

生活の音がない世界

風と 波の音だけ

<頼りになる大人>

<知恵を授けてくれる

おじいちゃん おばあちゃん>

- ・「おめえたちが 大人になる頃には 釜石は復興してっから」
- ・中学生が更に遠くまで逃げたのは地元の**おばあさんの声**に教師が耳を傾け判断した
- ・佐藤さんのおじいさん「100回あつたら100回逃げろ おくびょうもんでいい」
- ・油断からぎりぎりになって子どもを抱き抱えて逃げた 大人は山を見て 子どもは津波を見て…

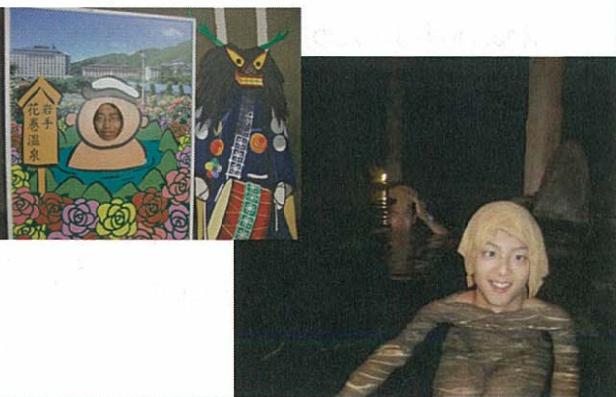
### 釜石東中から伝えたいこと

- ・想定外に対応できる力を身につけるには、普段のことを真剣に行うこと。普段をしっかりとこそ、大事な時に普段以上の力が出せる。
- ・大人を信じ、お年寄りを大切にしよう。あるおばあちゃんの言葉で私たちは救われた。長く生きている人の話には、絶対に意味と価値がある。
- ・語り継ぐことの大切さ。今日ここで分かち合ったものを、それぞれがまた別の誰かと分かち合いを広めていくこと。そうやって語り継がれたものがいつか、また誰かの命を救うかもしれない。

### 感想

- ・南へ行くほど すごいと聞いていたが その通りだった
- ・中学校の跡地が すごい状態で 津波は恐ろしいと思った ガれきと水たまりから ドブとゴミのような**臭いがすごかった** バスの形がわからなくなっていた
- ・来ると思っていなかった方向から津波が来たという話がおそろしいと思った(行き場がなくなった津波が回り込んできた)

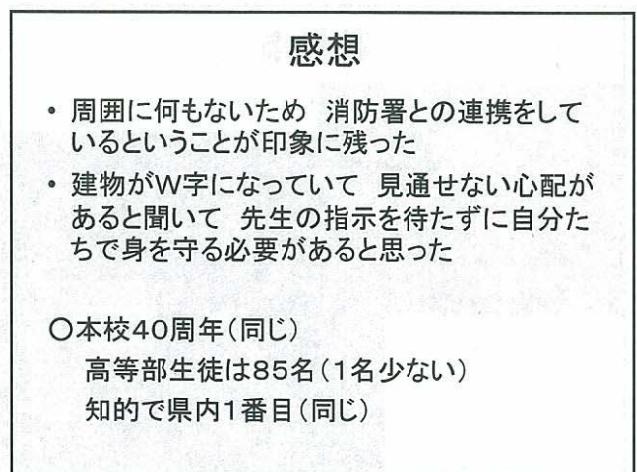
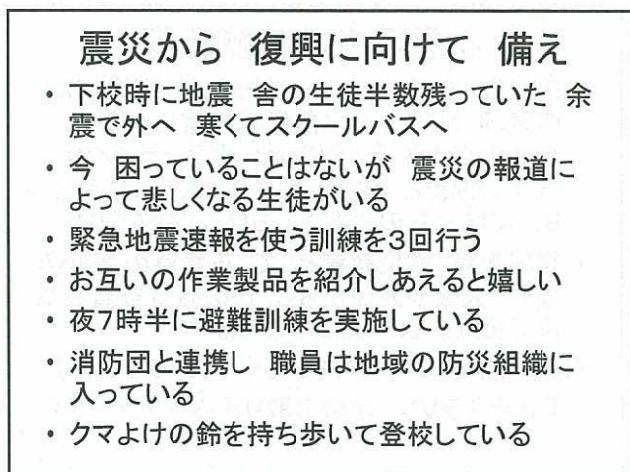
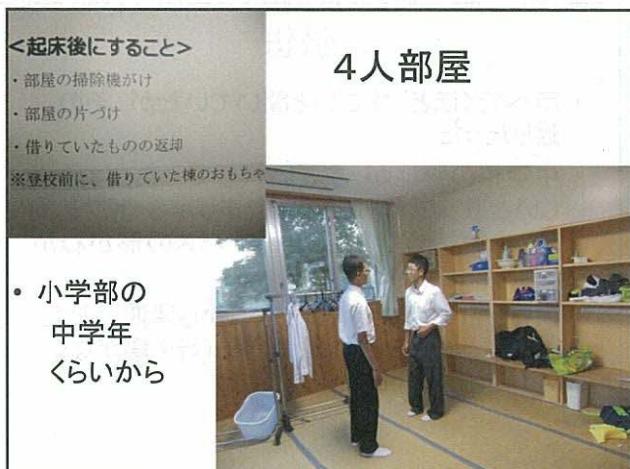
### 花巻市



### 花巻温泉教育旅行課

- ・震災後 全てキャンセルだったが 空港利用の医師 NTTや土木関係者の宿泊が毎日1000人以上来るようになり ボランティアの方々の拠点としても利用されるようになった 9月には一般のお客さんも戻ってきててくれた
- ・復興教育 震災教育として 千葉県の高等学校や 大阪や九州からも 市の教育委員会単位で奨励しているところもある

【朝6時過ぎに 小学生がたくさん走っていた】  
早起きマラソン 地域の取り組みで7月～8月





### タクシーの運転手さん①

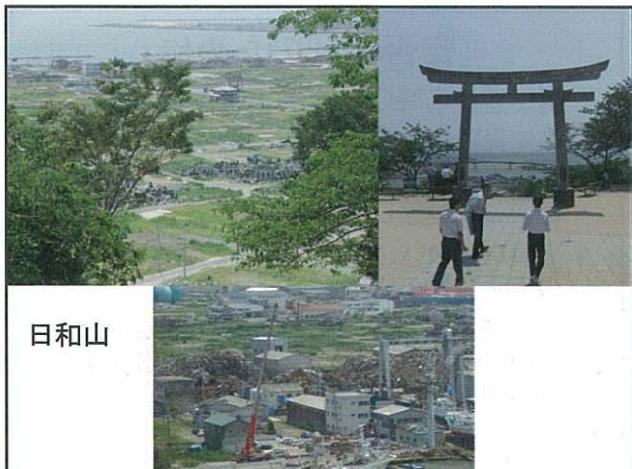
- ・陸前高田 知っていただけに 車も家もぐちゃぐちゃで 悲惨さがよくわかった 丸ごと町が 飲まれた感じ
- ・机の下にと言うが 仙台のビルは机が飛んでくるような感じだったと聞いた
- ・緊急時の携帯が つながるようにならないか
- ・震災時 勤務中であった 家族が心配でどうしてもと言うお客様を乗せて沿岸へ向かい津波にのまれた たまたま引き波になり脱出できた

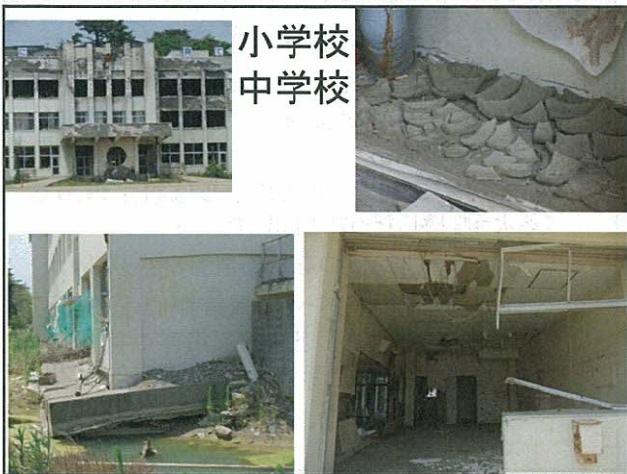
- ・ジャスコに避難 2000人 警備員がいたから安心感が 店長の配慮で食べ物を提供
- ・沿岸のコンビニATMから盗難 2億 未成年なども



### タクシーの運転手さん②

- ・介護関係も行っている会社 女川(おながわ)に老人施設があり 高台にあるのに津波にのまれた
- ・釜石東中は日頃から取り組んでいた 大川小学校は家族の迎え=地元地域なのに 学校のせいに
- ・仙台～石巻JRごと流された JRでなくバスを運行する計画が出ているが地元は反対している
- ・日和山(ひよりやま)から沿岸部へ 紅白で長瀬剛さんが門脇小学校の校庭で歌を 渡波(わたのは)中学校 湊中学校





### 震災から 復興に向けて

- 立っていられない揺れ 棚はしっかりと止められていたが 壁に亀裂 床はボコボコ ラジオのアンテナが壊れ何が起っているか分からぬ状況 3月なのにボタン雪が
- 近所の方々が避難をしてきて 体育館へ(卒業式で生徒は学校にいなかった) 津波をかぶった人が震えながら避難をしてきた マット 布団 段ボール カーテン
- 先生の子どもは高校生でカップラーメン1個を40人で分け合って食べたと聞いた

- 最初の二日間はあるものを 三日目からは地域の農家の方々が 17日になってやっと自衛隊の物資が 20日からは医師や他の学校の職員の支援が 周りの人たちの支援で頑張ろうと思った「千葉から来てくれたことも嬉しく思う」
- 七夕のお願いに 仮設が当たりますように 行方不明の人が見つかりますように
- 地元の小中学校に避難したが さわぐことを理解してもらはず つながりがもてない子たち(居住地校交流の推進 小中の特別支援学級の保護者と本校保護者とのつながり) アパート→学校→仮設住宅 自傷が抜けない ちょっとしたきっかけでフラッシュバックをしてしまう子もがまんしていたのか...一週間後にあちこちで

### 安否確認のために

- 通学時の〇時〇分にどこにいるか
- 家で災害にあった時に行く場所を複数個所
- 歩いて安否確認 張り紙が有効(ご存じの方は学校へ連絡してください)
- 教員の住まい(方面)に合わせ 居住地ごとの安否確認の担当者の割振り
- 一人確認できるごとに歓声が しかし4名が亡くなってしまった ベッドから運び出せず 車の中で抱えたまま 走ってる途中で...

震災後に保護者が図書室を 大漁旗で  
作ったはっぴを着て よさこいソーラン



学部集会に招待  
40周年記念福袋をプレゼント



茨城県特別支援学校被災地支援プロジェクト  
「ハートを贈ろうプロジェクト」について

茨城県内の特別支援学校の幼稚部、小学部、中学部に在籍する幼児児童生徒が「ともにがんばろう!」という気持ちを算にしてお届けします。  
貴県特別支援学校を巡回していただき、茨城県にお返しいただくことで、交流を図りたいと考えますので、旗の余白部分に各校で本県特別支援学校幼児児童生徒に向けたメッセージを記入していただければ幸いです。

IBARAKI TOGETHER  
~ミナナデトモニ~



## 備え

- ・避難所となるのだから 布団 おむつ ろうそく どんぶり 割り箸 缶詰 ビスケット 水 懐中電灯 100人が三日間食べられるように
- ・普段から どうしたらよいか考えておく 準備は大切
- ・生徒たちは 自分から質問項目を加え 「発電機はありますか?」「あります(医療的なケアが必要な生徒がいる)」車から発電できるインバータ 小型の発電機1個ではあまり役に立たなかつたので今は複数台



世界から応援メッセージが



今からぼくたちにできることは  
ありますか？

- ・来ていただいたのでうれしい 応援してください
- ・自分たちの学校のことを思い出して 考えてみてください 寒い時期はロッカーに長袖を置いておくことなど

「とにかくにげっぺ」

## 感想

- ・中学校の中が ぐちゃぐちゃになっていて 津波の破壊力はすごいと思った
- ・生徒のみんなが 明るかった あいさつもよくできていた
- ・集会にも出させていただき 本当に感謝
- ・復興に向けて 大漁旗ではっぴを作っていて すごいと思った
- ・メッセージカードを作って送りたいと思った

## 社会勉強

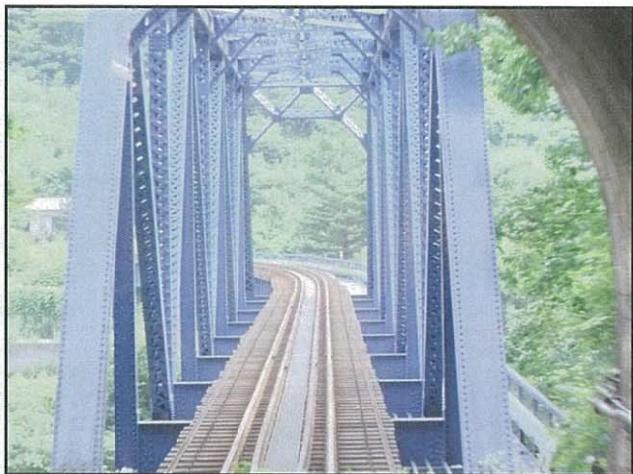
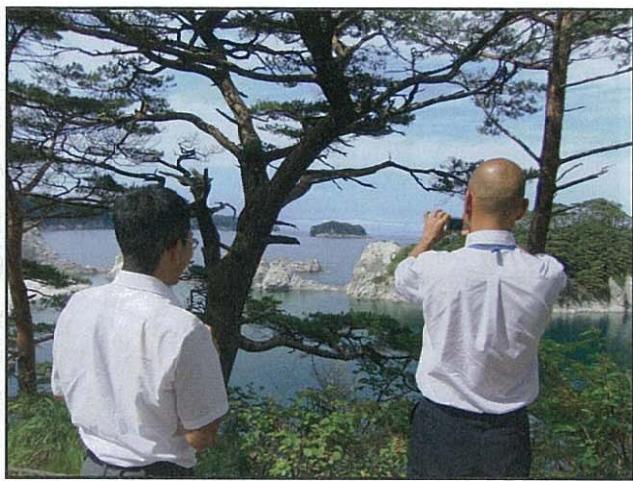


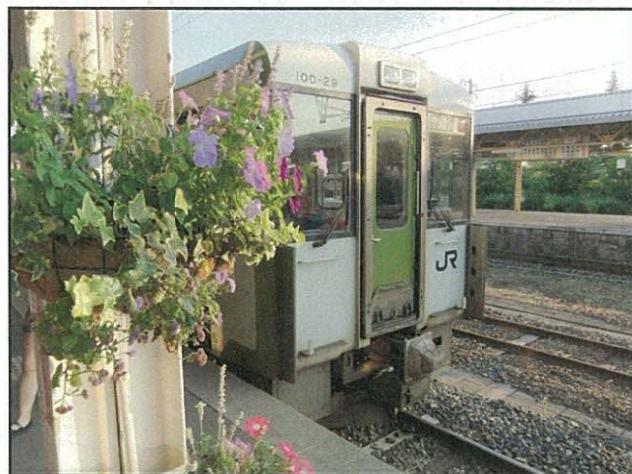
## 全体を通しての感想

- ・津波 地震の恐ろしさが分かったので 学校や家族 近所の人たちに伝えたい
- ・発電機の備えやスクールバスの避難訓練など 学校で生かしていくよい
- ・通学時に地震があった時には リュックやかばんで頭を守るようにしたい 自転車はヘルメットをかぶるとよい

## 安井君のカメラ 生徒自身の目







### 【被害及び課題となること】

- 人的被害 生徒 教師 家族
- 家屋の被害 仮設住宅 避難所にいられない
- 転校 精神不安定 髮抜き
- 卒業生の解雇 卒業生の就労取り消しや延期
- 情報収集 道路状況(逃げ道)
- 保護者の精神的ケア 職員のケア
- 発作のある生徒の通学手段 登下校の対応
- 医療的ケアの対応 薬の預かり 発電機の充実
- 安否確認の方法 在宅時の避難場所
- 食料 水 燃料の確保

### 訪問される側の気持ち

- 被災後間もなく 支援ではなく調査目的の人が
- 聞いてきたこと 見てきたことから 心の悼み そして身体の痛み
- 生徒たちの元気なあいさつと笑顔に
- できることを探すために訪問したが 何かを残せたのか これからどうするのか
- 来てくれてありがとう 思い出してほしい 伝えてほしい 今後の自分たちの生活に活かしてほしい

## 支援の和と輪(つながり ひろがり)

- 適切な報道から 県内から全国から世界から支援がメッセージが
- 地域とのつながり 児童生徒の命を 地域の命を守るという覚悟 広い学区では 居住地校との交流 居住地における地域とのつながりも大切となる
- 地域の方たちが学校から別の避難所へ 学校を本来の姿へ(思いやり) 避難所だったことが分からないくらいきれいに清掃も

## 本気の備え

- 防災頭巾でよいのか?
- 発電機は?ガソリンは?
- 水や食料は?調理のためのコンロや食器は?
- 防寒は?移動手段は?
- 安否確認のために 登下校の安全の確保
- 定期的に行っていたカレー作りや作業学習でのろうそく作りが 実は備えにつながっていた
- 行政との連携 震災後に東北を襲った台風 最初、対応は学校任せと連絡が 結局、学校に知らざる前に防災無線で休校と...

## やまもも祭(学校祭)で東北の学校の作業学習製品等を展示



## 40周年やまもも祭



## 「あたりまえ体操／COWCOW」 ぼうさい編♪誕生秘話

- 児童生徒会から全校の音楽で(小学部中学部が 楽しく身につくように)
- 片貝幼稚園にお届け 1/18(広い学区をつなぐ)
- 東北に届くように「がんばっぺす!とにかくにげっぺ! 先生、どうやって広めますか!?」
- 家具の固定等あたりまえになれば(阪神淡路からの教訓)
- いつかCOWCOWさんに そして全国に  
釜石の子たちの思い『あたりまえのことをしただけ』  
『いつか、誰かの命を救うかもしれない。』

## 「あたりまえ体操／COWCOW」ぼうさい編♪

あたりまえーあたりまえーあたりまえ防災♪  
地震のときは「だんごむし!」あたりまえ防災  
忘れちゃいけない「あたまをまもる!」あたりまえ防災  
逃げるときに大切なのはー「くつ!」あたりまえ防災  
海の近くで地震がきたら  
**「とにかくにげっぺ!」**あたりまえ防災  
どこににげっぺー「はやく!たかく!」あたりまえ防災  
「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」  
「命を守る」あたりまえ あたりまえ  
あたりまえぼうさい♪♪ 「かんぱっぺーす!!」

※株式会社吉本音楽出版(作家及び実演家であるCOWCOWさん)の許諾を得て替え歌を使用しています。



「あたりまえ体操／COWCOW」として  
本校が作成した歌詞で  
他校が取り組むことについての  
許諾も得ています  
振り付けは みんなで考えてください  
きっと 楽しいですよ♪  
◎「あたりまえぼうさい」という言葉が  
あたりまえになると

### 小学部 中学部 高等部 全校で

- あたりまえ体操／COWCOW

「あたりまえぼうさい♪」を音楽の時間にみんなで  
高等部生徒会が作ったDVDを始業式で紹介  
「一緒にやる人?」「はーい!!!」



### 児童生徒会の話し合いで旭市へ(8/2)

- 昨年度は津波の供養碑を見学
- 今年度は津波の被害が大きかった旭市を
  - 山のようにがれきがあった場所(漁港)
  - 飯岡中学校
- 校舎の1階や体育館などが津波被害
- 3/15の卒業式が延期
- 皆の協力で18日に実施
- 仮設住宅
- 復興どんぶり



### 千葉県の被災(旭市)



## 旭市立飯岡中学校

- ・竜巻(飯岡地区は過去に被害にあっている)や火山への対応についても学習
- ・行政が示した津波避難ビルでは、高齢者等を連れて逃げるには遠い 中学生が3Fの建物を探し学校が一次避難場所として依頼
- ・避難する特別教室は鍵がかかっている 職員室に戻らずに すぐに開けられるように階段に鍵を置いている
- ・校舎移転の話が進んでいない 耐震化されていない

(震災時の写真提供 原教諭)



3階から見える海



- ・マニュアルの見直し 震源が陸に近ければ津波到達が早い そこで...

○津波襲来30分以内 新校舎の4階へ

○津波襲来30分以上 2km内陸部の高台へ

【平野部の避難に参考になる】



- ・津波のあと校庭の池にメバルが泳いでいた しばらくメダカや鯉と一緒に泳いでいた
- ・津波の危険性から内陸に避難 そのことを保護者へ伝えるために防災無線を頼んだが... 伝わらずに沿岸部へ保護者が向かい...
- ・避難場所が寒く 行政担当者が来ていたため 灯油の購入を... 勝手に買ったと後で...
- ・緊急時の備えで トランシーバー 懐中電灯 名簿等複数個所に置くようにした 食料や医薬品は持ち出さず迅速に逃げる
- ・生徒はヘルメットを教室に置いておく 職員は廊下
- ・川は早く津波が来る 水門があっても関係ない

## 飯岡刑部岬(ぎょうぶ) ライブカメラ



東北太平洋沖地震による  
応急仮設住宅  
建設地

建設先 旭市都市整備課  
62-5355  
62-5895

仮設住宅二か所  
計200戸



- ・仮設住宅の シスターズ＆ボーイズ
- ・城西国際大学の松下先生と学生が月1回の訪問を継続(撤去されるまで継続する 震災からの経過時期によって必要となる内容が変わる) 本校が行く時に合わせてコーディネートしていただいた
- ・今は外へ出ることに取り組み 一宮で披露した軍手人形劇「仮設住宅の暮らし」福島県いわき市の仮設住宅を訪問し操り鳥のダンスを披露したりしている
- ・次はシスターズ＆ボーイズを本校に招きたい



#### 仮設住宅の状況は…

- ・80代の単身世帯 全部で7戸半 生活スペースは4畳半くらい
- ・天井が低く暑い(今までには浜風でエアコンは使っていなかった) 床も低くカビが生える
- ・雨音がすごくテレビの音が聞こえないほど
- ・断熱材も入っていないため 冬場はエアコンだけでは寒い
- ・春と秋には畑にまく 肥料の臭いがきつい
- ・ウォーキングや犬との散歩で規則正しい生活を心がけている
- ・殺風景だったが 段々緑が増えてきた
- ・旦那さんも 家も ペットも 津波で無くなってしまったが 元気になるように頑張っている

#### 2年男子 生徒会役員 感想

- ・仮設住宅は 部屋は7戸半で 予想よりちょっと広かったことと 冬はすごく寒いし 夏になれば虫や蛙が入ってくる話を聞いて 暮らすのに大変だなと思いました
- ・飯岡中学校では 校舎の壁に津波の跡があり 腰ぐらいあって本当にビックリしました それと津波のせいで 駐輪場が壊れたりロッカーにさびがはえてたりしていました
- ・僕は これらを見て聞いて本当の地震 津波の怖さ 恐ろしさを知りました

#### 共助の連携強化

#### 北之幸谷防災コミュニティ

- ・合同防災訓練を行い、地域と一体となって防災に対する意識を高める。(アウトドアの視点も)
- ・特別支援学校の児童生徒や長寿会も参加できる避難所の開設訓練を行う。
- ・講演会や防災安全マップ(ヒヤリハット)の見直し等を通して地域との情報の共有を図る。

#### 4／15(日)北之幸谷区定期総会

##### ○防災をテーマとした地域との交流の予定

- ① 8／25(土) 避難所設営(炊き出し)  
消防団や市の協力 PTAが運営の練習  
想定:第三段階における福祉避難所
- ② 9／24(月) 寄宿舎  
大学生やボランティア部会等や中学生  
想定:夜間における大津波警報
- ③ 10／5(金) 全校児童生徒会集会  
想定:交流時に地震、避難

## なくなってしまった地域の運動会が 形を変えていつか...

- 講演会 8/22(水) 「命を守るために地震について知つておくこと」「家庭における防災教育」依頼中  
講演終了後に講師を交えて防災教育ネットワーク会議(1回目)
- 防災教育ネットワーク会議 地域自立支援協議会  
地域振興事務所(二市四町防災担当) 各社会福祉協議会  
教育事務所及び各教育委員会 親の会 PTA 等  
地元災害の歴史に詳しい古山氏を講師に2回目(1月)
- 防災安全マップ作り 7月下旬から8月上旬 防災eマップの作成  
警察署や長寿会のお宅を訪問し情報収集(危険個所や北之幸谷の歴史)
- まちcomメール 北之幸谷区を加え配信
- 10月の中間報告会(長寿会やボランティ部会の代表)  
2月の最終報告会(車椅子生徒の参加)

## アウトリーチの視点 (センター機能を活かし)

- ・小中学校の校長会へ 高等学校へ
- ・長寿会のお宅へ  
「依頼がなければ動けない では意味がない」
- 入門枠の片貝幼稚園へ(平野部で海から1.5km)  
津波避難の場所を自分たち(保育園と)で探して確保(3.11の日は車が大渋滞 徒歩10分で避難できる3階の建物) おむつ等の備えを避難場所へ依頼したが2Fにしか置けない 3.11の時に子どもたちは先生の手足にへばりついていた 二次避難で標高が少し高い小学校に避難しても小学校は別の所に避難してしまっている 移転については予算がないと言われた

## 8/1 防災安全マップ作りで 長寿会の役員さんに 警察署に

北之幸谷公民館



東金警察署

## 長寿会の役員5名(昔のこと)

- ・千葉県東方沖地震(1987年、昭和62年)
- ・屋根瓦がたくさん落ちた そのあとも職人さんを頼むのが大変だった
- ・食器棚が倒れたり障子が外れたりした 停電になった
- ・学校は昔ため池(沼)だった  
昔は水遊びをした  
どじょうやタニシがたくさん



## 昔話から思わぬ話で盛り上がり 軌道(鉄道)

- ・みんなで降りて押したこともある 客車はマッチ箱のような感じ つり皮もあった
- ・学校からそう遠くないところに駅があった
- ・最初は九十九里からイワシを運ぶために作られたと聞いている そして段々と人が乗るようになった
- ・私が高校生の頃の話だよ

- 公民館で 毎月踊りの練習をしているからぜひ

- ・九十九里軌道(九十九里鐵道) 東金と漁師町の片貝を結ぶ路線として1926年開業 当時の運賃30銭 列車はガソリンカー 1961年廃止



### 長寿会(3. 11のこと)

- 3. 11は東方沖とは揺れ方が違った 瓦も落ちなかつた
- 外へ出て瓦が落ちてこないところにしゃがんでいた 庭の柿の木につかまつた
- 神社の灯籠や墓石が倒れていたので地震の時は気をつけないと
- 市内で液状化になったところもある
- 電話線が揺れる音が怖かった



### 長寿会(昔から今)

- コンビニの信号のところが危ない
- 習い事の施設から出てくる車が危ない
- 昔に比べて 道路がよくなつて静かになった
- コンビニの前で座り込んで食べている中高生がいる
- 昔は缶ジュースの投げ捨てが多かつたが 最近は減ってきた
- 昔に比べ川の水門が増えた
- 手で回して充電できる懐中電灯やラジオは必要
- 昔は井戸もあったけど 水は買う時代になったね
- 海抜の表示が東金市にもほしい
- 山の方へ逃げる人も多く 今 のままで道路が渋滞になる

### 10／5全校集会(防災集会)の招待状



### 東金警察署

- 自転車について 車の仲間である 自分の身は自分で守るためにライトを 止まるところはきちんと止まる 大きな通りは車が激しいので歩道を(ただし歩行者優先)
- 北之幸谷区にある3階建ての建物は支援学校と警察署 津波の時は避難できますか? 避難場所に指定されていない 3階の道場は本部となる 3. 11の時に避難してきた人がいたがロビーにいてもらった 留置されている人もいて難しい問題

### 自転車盗難にあわないよう 駐輪場へ 2ロック(ワイヤー等違う種類で) 防犯登録

- 不審者 知らない人についていかない(車に乗らない) 助けを求める 大きな声を出す(叫んで知らせる) 一人にならないように集団下校 子ども110番のことは教育委員会に
- 携帯 フィルタリングを 興味本位でいろいろなところを見ない 名前や住所を書かない大人に相談
- 痴漢・公然わいせつ 犯人がつかまり今は減っている



### 駅から学校までの通学路危険個所

- 国道と県道が交わる交差点
  - 交通事故発生件数で 月別に見ると 夏やみがある学生が増える8月 雪が降る2月が多い
  - 曜日別に見ると 月曜日と木曜日が多い 火曜日は少ない
  - 時間帯別に見ると 16時～20時の夕方が多い
- 原因は考えてみよう みんなが思うことが正解である

**8/25**

### 防災をテーマとした地域との交流①

- ・北之幸谷区ボランティア部会と地域の公民館で打合せ(7/14土10:00~)
- ・焼き出しのメニューはボランティア部会と相談
- ・釜は農家の区長代理さんのお宅から
- ・避難所開設訓練
- ・消防団操法訓練演技
- ・消防団と市役所総務課と打合せ(8/18土10:00~)

### 今日の目的は

- ・不自由な体験(普段の生活の幸せを確認)
- ・食べる 烹き出しカレーライスとスイカ
- ・避難所開設 少しでも過ごしやすい環境を考える ゆっくり過ごす
- ・何か一つでも役割を見つける 与える あるいは一緒に 自分一人でできることは限りがある
- ・消防団の かっこいい演技を見る
- ・みんなで協力して そのために名札がある 知り合いが一人増える(^◇^) それも役割

### 自分の命を守る

- ・つなみてんでんこ 釜石小学校  
NHKシンサイミライ学校 お父さんを救った例
- ・だんご虫のポーズ
- ・防災頭巾よりもヘルメット
- ・自分の体重の4倍はあぶない
- ・落ちてこない 倒れてこない 移動してこない
- ・足元の危険 靴は大切

### 家族の命を守る

- ・どんな災害で どんな時間帯で どこにいたら どうするか を話し合っておく
- ・そうすることで いざという時に信じることができる それが結果として自分の命を守ることになる
- ・車椅子のおじいちゃん ベビーカーのあかちゃん 自分ではなかなか逃げられない家族をどう守るかを話し合う 周りに知ってもらう

### 必要な知識と情報

- ・東金市から9月になつたら配布される 避難場所や救護場所
- ・いろいろなハザードマップや過去の災害や事故等(津波 海まで8キロ海拔8M 水害 正気地区 崖崩れ危険個所 文化会館 交通事故 セブンの交差点 プールの入口 犯罪など)
- ・救急法
- ・災害に関するメール配信 ラジオ 無線

### 備え

- ・電気 水や食料 トイレ 物資
- ・気持ち 姿勢(日本は災害大国)
- ・ベストより ベターな判断をする練習(サッカーもそう 結果得点になれば それが正解 結果命が助かれば それが正解)
- ・話をちゃんと聞くこと 自分の思いを伝えること

## コミュニケーションを大切に

- ・あいさつ
- ・ほうれんそう
- ・おねがいします
- ・ありがとうございます
- ・ごめんなさい

地域の子供会・ボランティア部会・長寿会  
市役所と消防団  
本校保護者児童生徒と職員 126名



## 安全避難のために動線の確認



受付は津波避難ガイドラインで  
統一された避難者カード

- ・集計表がいるよね
- ・色分けしてあった方が分かりやすいよね



## 全員が名札を付けて コミュニケーションを大切に

- ・児童生徒はガムテープの名札
- ・地域の方には腕章タイプの名札を用意



ゆっくり 落ち  
着いて過ごす  
(福祉避難所)

テント張り  
テーブル探し  
(一般避難所)



それぞれの役割を  
自分で見つけて 作ってあげて 一緒に



地域から釜を借りて



暑いから休憩も



スイカ割りゲーム

待ってたよカレーライス



消防団

かっこいい！！



PTA行事 司会はお母さん 感想



- ・カレーが美味しかった テント張り頑張った
- ・テーブルや机になるものを探るのが大変だった
- ・楽しくカレーが作れた いざという時は大変 練習ができるよかつた
- ・消防団の放水すごい ありがとう 火の扱いに気をつけます
- ・暑い日の避難でタオルとか帽子を持ってくることは大事 自助・共助の取り組みはすばらしい 消防団にも夏服と冬服がある
- ・いざという時は要援護者となるが 地域に知ってもら正在

- ・毛布が何十枚 食料が何日分備えてあることも大事だが…
- ・寒さをしのぐにカーテンが使える 近所の〇〇さんのところへ行けば米がもらえる
- ・学校や地域の資源を知っていること その資源の活用方法を知っていることの方が大切ではないか

### 食料備蓄の話から

○炊き出しの実施・経験から

- ・水があれば釜と米がある方が有効
- ・本校の貯水槽は屋上にあるため 電源が落ちても多少は大丈夫
- ・ミキサーで細かくする児童生徒についても すり鉢がある方がいいのではないか
- ・3. 11の時 校内からいろいろな食べ物が集まってきて空腹をしのぐことができた…どこまで備蓄が必要??
- ・給食室の米20kg予備（1食分）⇒60kgへ

9/24

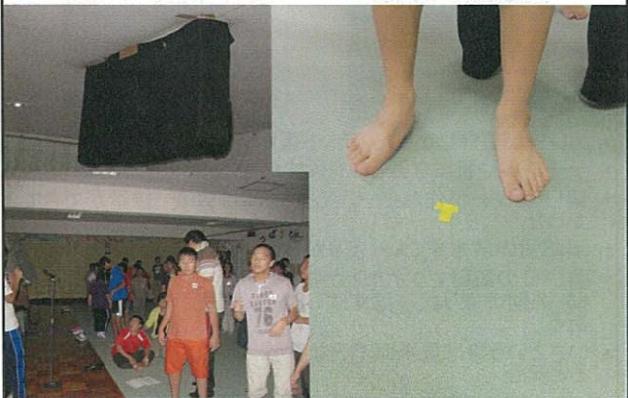
### 防災をテーマとした地域との交流②

- ・寄宿舎夜間防災訓練
- ・地域の大学生と地域のボランティア部会と
- ・被災地訪問の報告 原稿なしで思ったままを
- ・消灯訓練 足元にシールを貼り 暗闇でその場足踏み 暗闇でその場駆け足 どっちがずれる？怖い？？
- ・大学生による 手話コーラス ボランティアサークルのスターダストキッズ

### 名札をつけて 自己紹介



### 暗闇で「おかしも」あせって走ると



### 小さな世界 歌と手話で 大学生が旭の仮設住宅等でも行っている



## ありがとう 手話で 握手で



## 閉会行事で感想発表

- ・「練習 訓練が大切」震災後に発電式の懐中電灯を購入したが 一年以上使っていなかつたら使い方を忘れてしまった(地域)
- ・写真があって分かりやすかった 盛り上がりてくれてありがとう 生徒の司会が上手で見習いたい(学生)
- ・暗闇体験は やってみて初めて分かった 経験は大切 がれきのにおい 復興どんぶり 被災地の今がよくわかった(大学の先生)
- ・助け合うことが大切

## 10/5 防災をテーマとした地域との交流③

- ・長寿会8名とボランティア部会7名 全校児童生徒集会(防災集会)に参加

## 思わぬ再会が

- ・長寿会の方が元中学校の先生で 最初の教え子が本校の職員であった

早めに集まって  
世間話に花が

歴代の校長先生の写真を見て  
「あの先生  
知ってるわ」

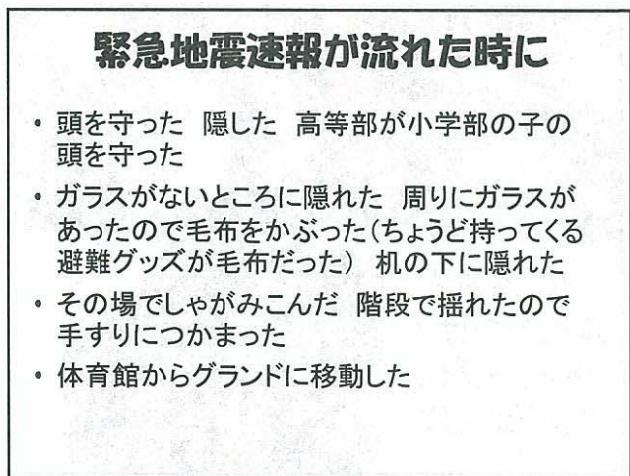
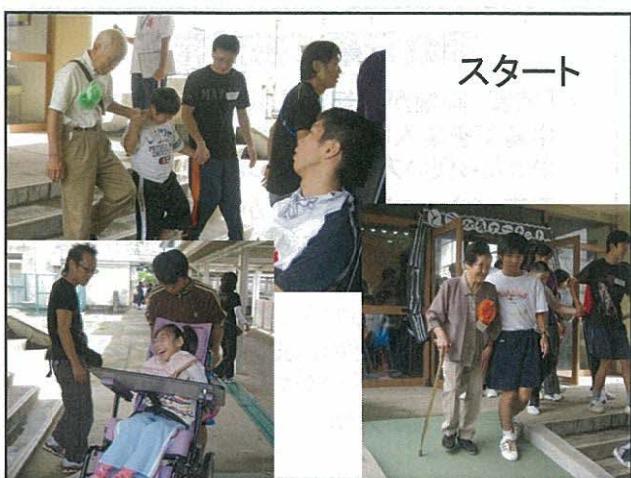


胸に名札と  
胸花をつけて  
グループ代表が迎えに

・まずは自己紹介  
・指示書に従って防災グッズのあるところへ

- ・小学部、高等部、長寿会というような縦割りグループでの活動







## 地域の方から感想

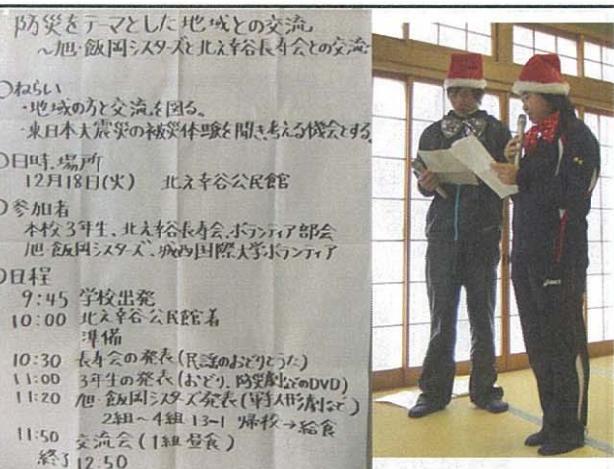
- ・「ボランティア部会」  
練習と分かっていてもドキドキする 家だったらどうするかなと考えていた テーブルにはいつもポットが置いてある 何度も練習することが大事だと思った 学校の皆さんと仲間になってできることができたなら また一緒にお願いします
- ・「長寿会」  
繰り返して体で覚えなければならない ずっと続けてほしい テレビでも近々地震が来ると言っていた 肝に銘じて練習してほしい

## 防災をテーマとした地域との交流から

- ・集会の前には 世間話を
- ・集会の後には 次の地区行事の打合せを
- ・いつもは公民館等で行っていることが 本校の場で行われている様子から 地域に開かれた学校になっていると感じる
- ・まだまだ話していたいけど... 名残惜しいという言葉も聞かれた
- ・防災をテーマにしていることで 地域にとっても防災について思い出し 考える機会となつている様子が感じられた(感想発表から)

## 12/18「北之幸谷公民館」 防災をテーマとした地域との交流④

- ・仮設住宅のおじいさんおばあさんと  
地域の長寿会を  
本校生徒がつなぐ(高等部3年生)



## 北之幸谷区 長寿会 92歳の踊りの先生

- ・毎週公民館で練習  
している民謡を発表



高等部3年生の発表は歌と踊り



あたいまえ体操と防災劇もDVDで披露



旭市飯岡のシスターズ＆ボーイズ  
「軍手人形劇 仮設住宅の暮らし」  
パーティションが活躍



「操り鳥のダンス」みんなで一緒に



昼食会(できることを分担して)



## 公助の連携拡大

### 山武防災ユニバーサルねっと 東金地域防災教育ネットワーク会議

- 行政(県市町)と地域との橋渡し  
地域振興事務所、市や町と自立支援協議会等
- ユニバーサルに使える情報共有のネットづくり  
在宅要援護者の携帯端末利用(災害・避難情報のエリアメール、学校からの一斉配信メール等)
- 「九十九里版津波避難に関するガイドライン」に示された防災教育の推進 実務者会議

3/28 読売新聞

### 津波避難「助け合って」外房・ 九十九里14市町村が指針

障害や持病薬など明記「ヘルプカード」  
山武市や九十九里町など外房・九十九里地域14市町村は27日、共同で策定した同地域の津波避難ガイドライン(指針)を公表した。住民の助け合いによって「災害弱者」の避難を支援するなど…

課題:津波避難に関するガイドライン  
見直しや具体的な推進のために行政を

- 広域行政や市町村行政へ  
要援護者登録=ヘルプカード配布にする  
避難行動計画の推進 等
- 具体的な指示  
「徒歩や自転車の避難が原則」とあるが  
要援護者は車両優先にする 等  
見直しの検討

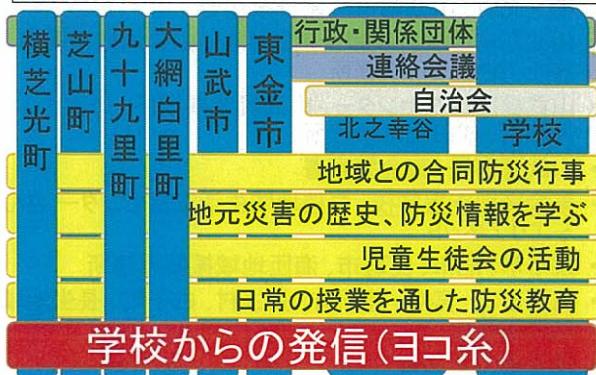
東金地域防災教育ネットワーク会議

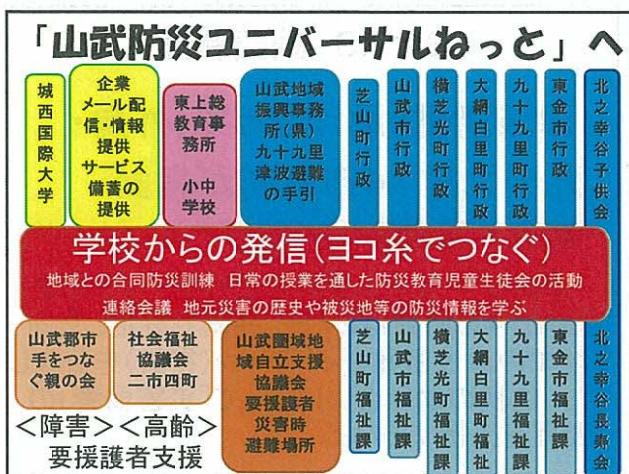
## 設置の背景

### 2011.2~本校の実践 地域・PTA・学校の協働による 防災教育の推進の取り組み

- 地域との情報の共有と発信を目的に
- 防災ユニバーサルねっとの提唱 具現化へ

### 防災ユニバーサルねっと





## 背景①

### 防災教育の法的根拠

- 防災教育実施が盛り込まれた改正災害対策基本法が成立（6/27施行）
- 第四章「災害予防」の部分で広く連携した防災教育の実施
- 自治体、ライフライン事業者、放送局などの「災害予防責任者」が共同するなどして「防災教育の実施に努めなければならない」
- 防災教育を行うときは「教育機関その他の関係のある団体に協力を求めることができる」

### 中央防災会議の意見からも

- 「過去の災害から得られた教訓の伝承」が住民の責務として 災害対策基本法に明記
- 「主体的な避難行動を取る姿勢を醸成する防災教育の推進」が重要と中央防災会議で指摘
- 子どもたちに対して、各地域に根差した内容で継続的に実施し防災文化が構築されるような防災教育の実施体制を整備 教育現場で防災教育を取り入れる事例の整理と教材開発が必要

## 背景②

### 九十九里版 津波避難に関するガイドライン



平成24年3月  
作成に協力

- 山武地域行政連絡会議  
東金市、山武市、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、山武郡市広域行政組合
- 山武郡市広域行政組合消防本部、山武地域振興事務所、東金県税事務所
- 山武健康福祉センター、山武農業事務所、山武土木事務所、成田土木事務所
- 山武警察署、東金警察署
- 東金特別支援学校、中核地域生活支援センター さんぶエリアネット
- 銚子市、旭市、匝瑳市、海匝地域振興事務所
- 茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長生地域振興事務所
- 銚子地方気象台

### 県の出先機関に訪問を重ね

### 行政連絡会議に出席へ

### 要援護者&教育の視点でつなぎ ヘルプカードの素案作りも行うこと

- (略)...山武地域行政連絡会議において、津波は市町村の区域を越えて広域的な被害をもたらすことから、市町村が個別に津波対策を講じるのではなく、地域が一体となって検討を行い、相互に連携・協力することが得策と意見が一致し...

## ガイドライン検討会議を通して

- ・山武地域振興事務所(県の機関)と山武圏域地域自立支援協議会(中核地域生活支援センターさんぶエリアネット)をつなぐ →広域の組織を
- ・ヘルプカードの作成を通して  
エリアネット(障害者)や山武健康福祉センター(高齢者、妊産婦)をつなぐ →要援護者同士を
- ・防災教育推進のために →行政と教育委員会を

## 【地域住民編】

### 災害に対する日常の備えは

- ・近隣住民等と災害時要援護者(支援を要する高齢者、障害者、妊産婦など)の避難方法を確認しましょう。
- ・災害時要援護者はいざという時のために、市町村が行う要援護者名簿への登録などに自ら申し出るようにしましょう。  
→本人からの協力が不可欠であるため。

## 【行政機関編】津波に備えた準備

### <災害時要援護者の避難対策>

- 災害時要援護者の所在把握と、情報伝達・避難方法、共助の仕組みの検討
- ・日ごろから近隣住民等と助け合い、自助・共助による取り組みを促進 《例》地域の防災訓練等の際に近隣住民等からの声かけ訓練を実施
- ・災害時要援護者及びその家族に対する広報の充実 《例》ヘルプカードなどの作成
- ・要援護者名簿の作成と緊急時限定の個人情報の活用について市町村の枠を超えた広域で取り組む

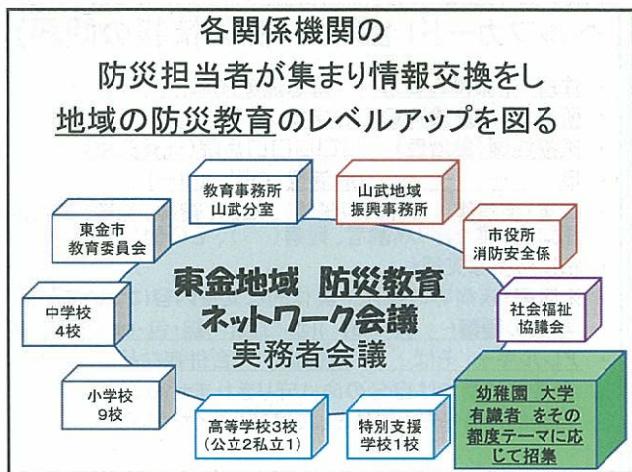
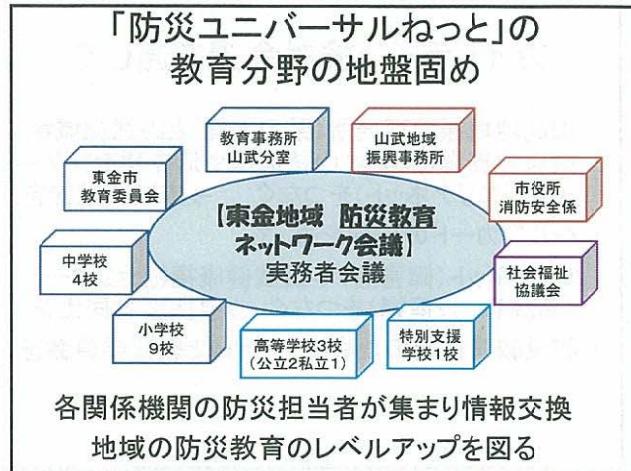
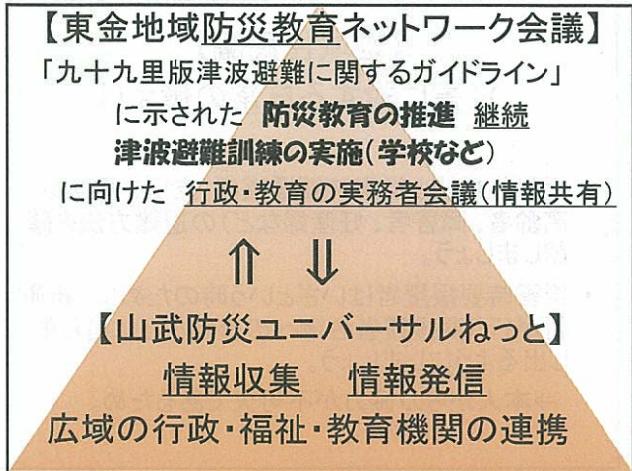
## ヘルプカード(名刺大 個人情報の問題)

- ・住所 千葉県△△市 緊急連絡先TEL — —
- ・所属(利用施設) ○○○学校 TEL — —
- ・医療機関(主治医) □□□□□病院(☆☆先生)
- ・TEL — — 血液型 O型 RH(—)
- ・障害・疾病等 身体(視覚等)、知的、精神、発達、高次脳、認知症、寝たきり高齢者、難病( )、その他( )
- ・私に必要な支援( )
- ・※障害・疾病等の特性や具体的な支援内容について記入 与薬の種類「 」を1日( )回／1回( )錠・包・mg／食前・後
- ・アレルギー そば 既往症 合併症など  
受身の姿勢では自分の命は守りきれません。  
自発的に身を守る方法として携帯してください。

## 【行政機関編】 津波に備えた準備をどうするか 教育の視点も加える

- ・学校における児童・生徒への防災教育の推進
- ・津波避難訓練の実施(地域、事業所、学校など)

## 【九十九里版 津波避難に関するガイドライン】 を元に 防災ユニバーサルネットの具現化 ①



**背景③地域防災**

- 中央防災会議や中央教育審議会の委員をしている片田敏孝さんの著書『人が死なない防災 集英社新書』より「日本一の高齢化率の村」が示した地域防災力 2007年台風9号群馬県南牧村(なんもくむら) 大きな被害があつたが犠牲者ゼロ
- 農家のおじいちゃんがコンニャク芋を入れる麻袋を土のうにして隣のおばあちゃんの家の浸水を防いだ
- 崖の上に住むおじいちゃんが崖下に住んでいるおばあちゃんを軽トラックで迎えに

**内閣府  
「共助による地域防災活動報告会」**

- 地域において防災活動を行っている様々な団体が集まり 活動事例の紹介や意見交換を行う
- 基調講演 「過去の災害に学び地域の防災を高めよう」 名古屋大学 教授 福和伸夫
- 平成24年2月 本校も報告団体として参加

**8/22「防災教育講演会」  
「第1回東金地域防災教育ネットワーク会議」**

- 報告 高等部 生徒会役員生徒  
「今からできることを探しに東北へ」
- 講演Ⅰ 東京大学地震研究所 大木聖子さん  
「命を守るために地震について知っておくこと」
- 講演Ⅱ 危機管理教育研究所 国崎信江さん  
「地域と連携した家庭における防災教育」
- 防災担当者による  
東金地域防災教育ネットワーク会議  
設置要項の確認 等

## 講演会

- 東京大学地震研究所 大木聖子 先生
- 危機管理教育研究所 国崎信江 先生



本校食堂にて 173名  
地域・一般(行政、福祉、教育)78名  
本校職員・保護者・生徒 95名

## 講演会の前に

### 生徒会の東北訪問の発表

たくさん練習



緊張したけど  
頑張りました

## 第1回

### 東金地域防災教育ネットワーク会議

- ・要項の承認
- ・ネットワーク会議設置の背景
- ・国崎先生 大木先生からのアドバイス
- ・小中高特支、行政福祉等関係機関から30名



### 東金地域防災教育ネットワーク会議 の今後

- ・情報交換から 防災教育の見直しへ(過去の常識が通用しない部分が多くある)
- ・主体的に命を守るための学習の場となるよう 縦割りでの連携をそして 発達段階に応じた防災教育の検討までできると
- ・有識者や学区の二市四町の先進事例校(幼稚園や大学等も含めて) 等を招いて
- 行政 福祉 教育委員会が同じ建物内にあってもなかなか連携ができないが こういう場があると同じ方向を向けるという意見も

## 第2回 東金地域 25. 1. 29 防災教育ネットワーク会議

- 講話 「千葉県の災害史について」  
大網白里市郷土史研究会 古山豊氏
- 本校の防災教育について
- 連携した防災教育の取り組み事例  
について紹介  
(幼と特支 小と中 小と高  
行政と学校 関係機関と学校 等)

### 特別支援教育における防災教育

- ・災害弱者として守られるだけでなく 主体的に自分の命を守る姿勢を育てる(発信)
- ・大切な自分の命を守りながら 助け合う気持ちを育む
- ・五感を使った多くの体験を通して 命を守るためにの知識を身につける
- ・教師自身の命を守りながら 児童生徒を守るためにの備えについて検討し続ける(車椅子に覆いかぶさって それでよいのか)
- ・センター機能を生かし 災害時要援護者同士をつなぎ 情報の共有を図る **発表内容抜粋**

## 災害時要援護者の自助①

- 認知症予防のために 訪問する職員を市が雇うことに(訪問をしていた医療関係者の主体的な取り組みから)  
介護(認知症)予防域モデル事業と合致
- 医療と福祉との連携
- 福祉も児童・障害・社会と分かれています連携がとれていないところも多い
- 障害や難病等の各団体のヨコのつながりを

発表内容抜粋

## 災害時要援護者の自助②

- 発信力 知識+経験+継続
- つながりの多さ  
認知症の予防で定期的に訪問  
早期治療の促進で効果が
- 備えの充実(今日できること 長期にできること)  
倒れないように 落ちてこないように  
移動してこないように 靴 ヘルメット  
20年後を考えた居住地についても  
(自身 子ども 孫)

発表内容抜粋

## 震災後における福島県の特別支援学校の現状と課題 聾学校長 高屋隆男

- 風評被害(放射線) 給食では福島県産のお米を使用(放射線基準も低くしている) マスクをしてグラウンドを走っていると思っている人がまだ多い  
グラウンドは5回土を変えながらでもプールでも元気に遊んでいます
- 元気であることを伝えたい ぜひ来てほしい
- 県内9分教室に分かれた学校の学習発表会がこの10月に2年ぶりに行えた
- 耐震工事や防災教育はまだこれから

発表内容抜粋

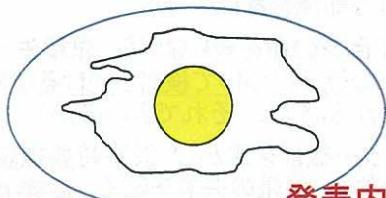
## 聾学校の避難訓練

- 埼玉県 緊急地震速報に連結した赤色灯が回って危険を知らせるシステム
- 千葉の聾学校は全県一区 下校途中に災害が起きたら誰が教えてくれるのか
- ユニバーサルデザインのシステム作り 例えば緊急地震速報を受診した信号機は点滅をする 家庭のテレビや電気に連結するシステム
- 後付けで取りつけると高額になる 普及が進まない 般化する段階でのユニバーサルデザインを忘れないでほしい

発表内容抜粋

## 文京区立明化幼稚園 目玉焼き鬼

- 安全指導の視点から発案
- 話を正確に聞き どう行動するかを理解して動く(ルール) 周囲の状況を見て動く(判断) 友だちの動きも視野に入れて動く(コントロール)
- パラシュートを加えれば上の意識も

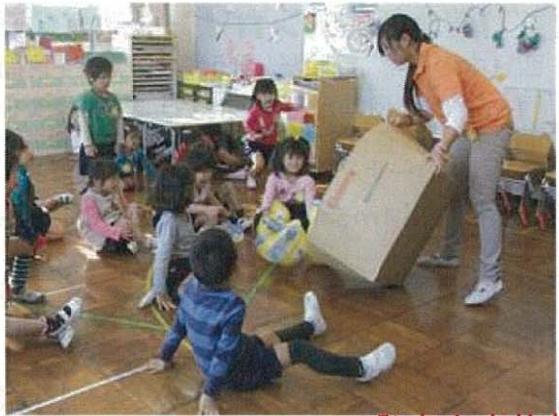


発表内容抜粋

## ヘルメットをかぶる



発表内容抜粋



発表内容抜粋

### 特別支援児も自分から ユニバーサルデザインの授業



発表内容抜粋



発表内容抜粋

### スマトラ沖地震から 2013年12月26日で8年 インド洋大津波(インドネシアの島) NHKで紹介

- ・地域では18万人犠牲(全体で22万人犠牲)だったにもかかわらず この島では人口8万人中 犠牲者7人
- ・100年以上前から歌で語り継いできた 大きな地震=津波 山へ(高台)逃げる
- ・命を守る歌「スモン」=津波 東日本大震災のことも歌詞に加えられた

○校歌は地域特性を含んでいることが多い

校歌からの防災学習

校歌の替え歌で学習等できないか発表内容抜粋

### 作って 終んで 終わりではない

- ・南三陸町立戸倉小学校の避難が成功した理由
- ・二年間の議論
- ・屋上避難か(地元の先生:これ以上 上に行けない恐怖)
- ・裏山の避難か(校長先生:専門家の話やハザードマップからは屋上避難で十分)
- ・結果 屋上まで津波にのまれた
- ・防寒着を持って逃げたことで二次被害がなかつた

発表内容抜粋

### 責任はどこに??

- ・大川小学校の責任は学校に対して問われているが 教育委員会の設置責任は? ハザードマップを作った行政の責任は? ハザードの元となった資料を作った研究者の責任は? イタリアでは予知失敗の地震学者に有罪が
- ・九十九里沿岸 ヘルパーさんが介護中に津波警報が「私を置いて逃げて」
- ・保育園の先生が車に乗せて避難して 何かあったら有罪?? 現場が困らない組織づくり システムづくりを

発表内容抜粋

## 引き渡しの問題（津波等の二次避難）

- ・石巻市 釜小22人引き渡し後に…
- ・渋滞であり 自転車で迎えに 途中パンクし 走って小学校へ 自宅に戻り二階に避難でき 助かったが 後から迎えに来た人々は…
- ・引き渡し後に死亡・行方不明になった児童生徒は3県で120人
- ・大津波警報の情報が入らなかった しかし入らずとも揺れで判断し避難をした学校もある
- ・原則 引き渡しをしないという学校が増えているが 引き渡しを拒む法的根拠はない

【出典：河北新報 特集】 **発表内容抜粋**

## 11/11河北新報アンカリング効果の懸念

- ・西日本沿岸部 危険だと思う津波の高さを質問
- ・「1mまで」の回答が震災前は70.8% 震災後は 45.7%（調査：東大地震研 大木聖子 同志社大学 中谷内一也）
- ・避難行動も「1mまで」は 震災前60.9% 震災後25.3%
- ・震災後巨大津波の情報が繰り返し発信 一般的な津波より高い数値が人々の意識にアンカー（いかり）を降ろし 低い津波は大したことないと…

○50cmの津波は人を押し流し 1mの津波は木造家屋を半壊させる **発表内容抜粋**

## 小中高の連携事例 これがスタンダードに

- ・杉並区 三谷小学校 宿泊訓練
- ・井草中学校生徒が母校でレスキュー（救命救急ができる中学生）の手本を見せ
- ・高校生が炊き出しをして 小学生と宿泊
- ・埼玉県熊谷市 中学生が自治会と共に要援護者の安否を確認する訓練を実施した
- ・今年度は市から提供された実名簿で安否確認訓練を実施する予定

**発表内容抜粋**

## 女川の中学校 学年ごとの防災学習①

- 1年生は 災害時の判断について  
2年生は 「津波に強い町づくり」の話し合い 女川町の議会に提案します  
3年生は ストレスマネジメントについて  
女川での最大の防災学習は「忘れないこと」  
あの体験を無駄にしないこと  
それが1年生の授業  
そして世界中の支援に対する最大の恩返しは  
「伝えること この部分は2年生  
また 震災による恐ろしい被害は  
死者行方不明者～名とか全壊半壊～世帯…だけではない  
1年半を過ぎて これからジワジワと襲ってくるであろう  
「心の問題」 心のケアは 当面最も必要な災害対策です  
3年生が取り組みました

**発表内容抜粋**

## 女川の中学校 学年ごとの防災学習②

震災後の心のケアは 震災を「忘れないこと」「伝える」とこと 相反するようにも思えますが 乗り越えるというのは 避ける ことでも 忘れることでない まず 受け止めること そこがスタート 昨年5月の俳句づくりで 「見たことない女川町を受けとめる」という作品がありました 「受け入れる」でも「信じない」でも「立ち向かう」でもない 個人のペースでかまわない しかし 受けとめることは必要 生徒に教えられました 今回の授業の 最大の狙いは「授業で扱う」ということ これは中学生にとって インパクトがあります しかも学年「このことは学年全体で 授業で扱うほど重要なのだ」というメッセージ 前例のない日々が続きます

**発表内容抜粋**

## 防災教育チャレンジプラン実行委員 板橋区福祉部長 鍵屋一さんとの話から

- ・引き渡して終わりではない 引き渡して亡くなってしまったケース 引き渡しても避難所に入れなかつたケース
- ・学校にどれだけ いられるか 初期段階で 第三段階で 本校は寄宿舎の有効活用 備蓄米の増量
- ・孤立しないこと（学校や施設が そして個人が） 宮古の支援学校の隣は入所がある施設 釜石の支援学校の隣は病院 石巻は地域密着で食糧調達ができた 花巻は職員が地域の消防組織の一員に そして何より学校は存続すること（BCP 事業継続計画）

**発表内容抜粋**

## BCP (Business Continuity Plan) 事業継続計画

- 知的障害特別支援学校における事業継続計画(BCP)策定のためのガイドライン 著作:鍵屋一氏
- 内閣府中央防災会議で企業のBCPの普及が課題
- 高齢者の養護老人ホームを土台にしたBCPから作成
- 全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会HPからDLできる
- 自然災害や新型インフルエンザなどの緊急事態に遭遇した場合であっても 重要業務を継続し 児童生徒や地域の障害者の支援を継続するためのもの

**発表内容抜粋**

### 例えば...

- 釜石東中の実践 安否札の作成と配布  
⇒安否札 市や社協が作成 配布は小中
- 震度5強 ⇒ トランシーバーチャンネル「1」
- 学区や市町村 広域での引き渡しの統一  
震度 5弱？5強？
- 市原 中高特支の生徒会で防災のチラシ配り
- 炊き出し訓練を隣の学校と一緒に  
備蓄は買うだけでなく 学校・地域資源の見直しや活用 ⇒ 週末の備蓄米の量を増やした

**発表内容抜粋**

- 安否確認がCoCoメール(ドリームエリア)ができる学校や地区の社協等の単位での運用を検討できない? 災害時要援護者安否確認システム?
- 加えて安否札や黄色ハンカチ(地域によって元気なサインだったりSOSサインだったりする)
- 大網白里町では 登録した高齢者宅を地図に示している
- 地域に合わせて使えるものを組み合わせる
- 岡山県津山市新田 高齢者宅が目立たないよう元気メッセージの黄色いハンカチを全戸に配布 ユニバーサル&インクルーシブ

**発表内容抜粋**

### 【ユニバーサル】

- 「障害有りき」で 障害(文化・国籍・言語・年齢等)能力を問わずに利用できるようにする
- 避難所想定で 福祉避難所が用意されること  
コミュニケーションボードや介護札が用意されていること

### 【インクルーシブ】

- どの子も一緒に地域の学校で
- 避難所想定で 一人ひとりの役割を明確にすること

**発表内容抜粋**

## 地域の防災力の向上に向けて (イメージ)

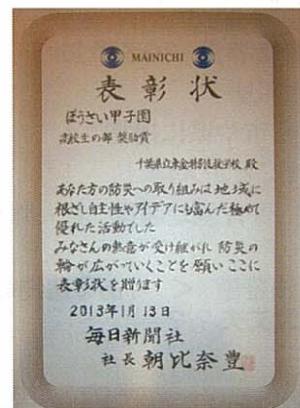
24年度  
ネットワーク  
会議立上げ

25年度  
連携の模索  
事例検討

26年度  
連携の実施  
要項見直し

**発表内容抜粋**

## 「ぼうさい甲子園」より



**発表内容抜粋**

- ・主催者あいさつ 16年の間に1. 17 3. 11が起きている そういう時代だということ
- ・知識や経験から学ぶ それに加え実践を積み重ねていくことが大切
- ・階上中 友人を失ったり避難所の体育館から6ヶ月学校に通つたり 海に恨みもあるが仕方がない 自然と共生する 世界中から自衛隊等からたくさんの恩を受けた 人のためになる仕事をしたい
- ・磐城高校 沿岸部の津波痕を60km歩いて調査し提言

### 発表内容抜粋

- ・女川一中 津波対策の話し合いで「とにかく逃げる」とまとまりかけたが『逃げない人がいて、それを助けようとして亡くなった人がいる』とにかく逃げるだけでは足りない『絆を深めること(共助)』『高台へ避難(受け入れる)できる町づくり(公助)』も必要だ
- ・倒壊ビルの保存の話し合いで 賛成81人 反対219人(見たくない)どちらでも97人 しかし1000年後の未来を考えた時には...



### 発表内容抜粋

#### ○宮古工業高校

地域の小中学校の防災教育にかけている時間数調査⇒少ないのでと指摘  
また 高校には授業もないと指摘  
世界の地震の10%は日本で起きている  
復興に向けては まだまだある

#### ○釜石小

命を守ることができたのは  
防災の学習の積み重ねである

### 発表内容抜粋

#### ○宮古 鍋ヶ先小学校 5つの提言

- ・地震が来たら迷わず高台に逃げるべし  
逃げたところで登録すれば身内に伝わる
- ・命を優先し何があっても戻らぬべし  
信じあうこと 避難場所を決めておくこと
- ・助け合い 人とのつながりを大切にすべし  
普段から 家族のように接しておくこと
- ・万一に備え 防災グッズをそろえるべし
- ・未来へ向かって一步一歩進むべし

### 発表内容抜粋

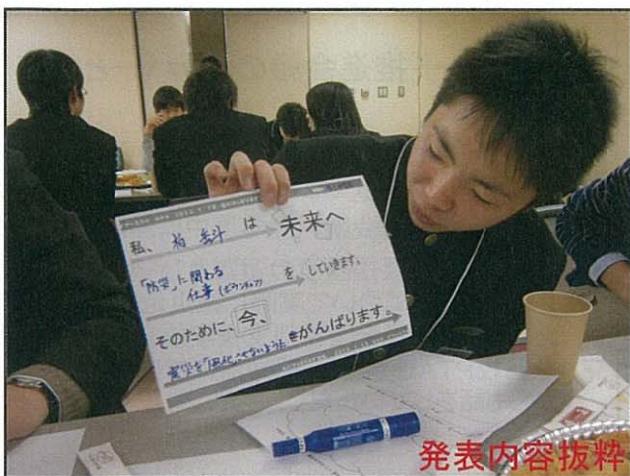
#### 徳島県津田中学校

- ・引率は地域の防災教育指導員 30名参加
- ・全国初 事前復興まちづくり
- ・毎年 夏に住民調査から市や県に提言
- ・地域に『出て』つながることが大切
- ・不安な施設は? 病院 保育園幼稚園 老人障害者施設 調査の結果...
- ・沿岸部に建築をしない法整備 < 今ある建物の耐震化 これで本当に大丈夫??

### 発表内容抜粋



### 発表内容抜粋



## 【九十九里版 津波避難に関するガイドライン】 を元に 防災ユニバーサルネットの具現化 ②

### 【東金地域ヘルプカード推進会議】 【災害時要援護者支援ネットワーク会議】へ

ヘルプカードの普及  
障害別(各障害者団体との連携)  
ヘルプカードの作成や紹介  
要援護者名簿登録等の実施状況の確認  
災害時 具体的に(メリット)  
名簿がどのように使用されるのか  
以上の推進に向けた福祉・教育の実務者会議



【山武防災ユニバーサルねっと】

情報収集 情報発信

広域の行政・福祉・教育機関の連携

### ヘルプカード等 時系列 優先順位

- 災害後24時間 生命に関わる医療等の情報
- 保護者・学校や施設等複数の連絡先の明記

- 災害後3日 落ち着いた生活のための支援
- 障害別に作成
- 家庭と利用先等の複数個所に置く

ブックとファイルを同義と捉える場合もある

- 避難生活の長期化
- 成育歴を含めた長期の情報

### ヘルプカードの推進に向けて

- ガイドラインで広域行政が示し  
市の防災担当と障害・高齢福祉等が連携  
社会福祉協議会や地域自立支援協議会  
特別支援学校も協力
- 推進のためにカードとブックとファイルの整理  
時系列と優先順位
  - 山武地区相談支援ファイル あおぞら  
成長の記録 子どもの理解 生活のサポート
  - 自閉症協会 防災ハンドブック 助けてカード
  - 青梅市 聴覚障害者用SOSカード

## 災害時要援護者 名簿登録について

【支援は誰が どのように】避難行動計画

- ・共助+公助 自力避難が困難な者
- ・自助+共助 声かけ支援が必要な者

【登録の推進】

- ・未同意者名簿 避難情報発令時に開封
- ・同意方式 ⇒ 逆手上げ方式へ

(個人情報保護審議会の同意)

⇒ ファミリーサポート制度(家族で登録)  
参考:新潟県見附市、三条市

## ヘルプカード推進会議のメンバーと内容

- ・山武健康福祉センター(保健所)
- ・さんぶエリアネット(地域自立支援協議会)
- ・6月、7月、8月会議～今年度中に形にする
- ・10月18日 要援護者の避難及び被災で困ったこと等について実際に被災地を訪問した方から講話(全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会)認知症のご家族の方からも話を来ていただく

## 障害別(個別)ヘルプカードの紹介や作成に向けて 具体的な活用方法や書き方の例

- ・保護者との意見交換
- ・相談支援ファイルあおぞらに1P加え、ヘルプカード、要援護者登録等の推進を図ることも検討(山武地域の障害児へ)

### 「災害時の備え」ヘルプカードって?

## 10/18災害時要援護者の避難を考える講演会・グループ討議の実施

- ・26団体 57名
  - 幼稚園 大学(福祉) 特別支援学校
  - 市役所(総務課 福祉課)
  - 広域行政 広域の保健所
  - 社会福祉協議会
  - 各障害者団体(自閉症 身体障害者 精神障害者など) 親の会
  - 視覚障害者本人 など

## 健康福祉センター(保健所) 自立支援協議会(エリアネット) 特別支援学校の共催



## 講演会

- ・全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会  
石塚由江さん  
PTA主催の防災訓練 家庭の備え SOSファイル  
東北3県の特別支援学校訪問調査  
特別支援学校におけるBCP(事業継続計画)
- ・認知症の人と家族の会 合江みゆき さん  
災害時に すぐ介護の支援はない  
認知症の理解 地域の理解 居場所づくり  
介護マーク(トイレの介助や下着売り場で  
異性の介助)  
認知症サポーター養成講座 オレンジリング

### グループワーク(3. 11の話題から)

- ・自助 受援力 助けてという発信 杖を持っていたから周りが助けてくれた 沿岸部で津波警報 訪問介護の方に「もういいから逃げて」
- ・共助 支援力 訪問介護ステーションに避難してきた人たちがいる(助ける人たちだと思っている)  
⇒正確な情報(どこでどんな支援ができるのか)  
地域に合った取り組み 食事 ラジオ体操
- ・公助 授援力 コーディネート(障害者団体同士をつなげたり 地域特性を考えたり あおぞらとヘルプカードをつなげたり) 要援護者登録者のマップを作ったが登録者は独居老人だけで加入率は低く更新の問題もある(障害の方には登録の案内をしていない)

### グループワーク報告



### 展示(自助に 支援者に 避難所に)



- ・認知症の介護から学ぶことも(異性のトイレ支援など)

### 保護者感想 「楽しかった」

「よかったです」で その場で簡潔してしまうより  
「楽しかった」で終わる方が 次につながる

### 認知症の人と家族の会 感想

「障害者の家族会の方とお話しする中で 分野や介護の内容は違うけれども 考える視点や悩みはとても似ている 他の分野の方と話せることで発見ができた ありがとうございました」

何かを決める 何かを作るという明確な形でなく  
話をするテーブルを作れたことが大きな収穫

### その子(方)に応じたものを備える

- ヘルプカードをそのまま持つ
- 受診サポート手帳(山武医師会 障害福祉課)
- 山武地区相談支援ファイル あおぞら  
成長の記録 子どもの理解 生活のサポート  
ヘルプカードやその紹介等を追加する検討
- 自閉症協会 防災ハンドブック 助けてカード
- 青梅市 聴覚障害者用SOSカード  
NTT電話お願い手帳

「あたりまえになること」

### 本人に合った使いやすいものを選ぶ



- ・10年以上前に 身体障害者の協会で作られた情報カードをずっと持っている方もある

## 災害時の自助 ヘルプカードの内容追加を

山町地区相談支援ファイル

**あおぞら**  
子どもたちのたしかな成長のために

名前 \_\_\_\_\_

山町農業地帯自立支援協議会  
(アソブ・エンブ・セラフ・ワールド・アソシエーティング)

このファイルには、次の内容が入っています。

場 景	想 い
1. プロフィール	今の様子をできるだけ記してください。状況により、書類へ記入いただくください。
2. 成長の様子	成長の様子を記入ください。
3. あの日、あの時の記録	日記のようにエピソードを記録できます。
4. 相談の記録	いつどこで何が相談したか記録できます。
5. 生い立ち	現在までのことを記録できます。
6. 学年別用ファイル	通っている学校の先生と一緒に、子育てについて考えてみましょう。
① 幼～4歳	小学校等の入学者に適し、幼稚園・保育園の先生と一緒に書きましょう。
7. 就学前ファイル	就学前の入学者に適し、幼稚園・保育園の先生と一緒に書きましょう。
② 5歳～6歳	小学校の先生と一緒に書きましょう。
8. 学年別ファイル	小学校の先生と一緒に書きましょう。
③ 7歳～16歳	
9. 幸運のこと	就職や進学等で喜びの先生と一緒に書きましょう。就職と連絡を深めてください。
10. 地域生活における力	地域生活における力を記入して下さい。
子エクサリスト	子エクサリスト
資料1 生活支援情報	日常生活や医療サポートの状況を記録できます。
資料2 サポートをする上で	サポートをする上で、あらかじめ知つてほしいことをがんばってみましょう。
資料3 保健・基盤的利用について	何を利用しているか確認するのに便利です。
資料4 相談・支援機関等一覧	近隣の相談機関等を記載しています。
資料5 相談メモ	相談するときに便利です。
資料6 メモ	書き留めておきたいことをメモしましょう。

「乳児登録」をお持ちの方へ: 資料3を利用したい方は山町農業地帯に申し出ください

## 受援力 自助を高めるためのシステム

- ヘルプカード 災害時要援護者登録 3%
- 相談支援ファイル(サポートブック)あおぞら  
全員に所持を推し進めることになった  
それにヘルプカードをリンクさせる  
本人が常に所持しているわけではないが  
100%になる
- 行政の方との話で  
障害者手帳にヘルプカード添付ができるのか  
その発想からもうひとひねり  
障害者手帳所持=災害時要援護者登録  
になるというシステムが作れないか

災害時情報カードで  
ヘルプカード等の所持  
援護者の名簿登録等について確認

所持率 及び 登録率  
3%です

所持率を上げるための方策を  
学校で ネットワーク会議等で

## 家庭の防災教育

家庭外の避難場所の名称や注意点(公園や小学校など)

昨日、日本旅行へ行った場合、太子支警察から  
車で帰宅、東日本大震災で東北地方沖地震が  
発生した際に、車で東金方面へ逃げた場合、  
太子町内の小学校等の避難場所は、  
太子町内でも最も早く自家車で東金方面へ逃げられる  
避難場所として、毎年アドバイスを行なう。

【一次避難】 家庭内及びグランドや公園の指定一次避難場所  
家庭内で気を付けること(寝る場所や家具の固定、ヘルメット等)  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

【二次避難】 家庭外及びグランドや公園の指定二次避難場所  
家庭外で気を付けること(寝る場所や家具の固定、ヘルメット等)  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

【三次避難】 家庭外及びグランドや公園の指定三次避難場所  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

避難場所: さくら公園 (最も近く)  
李大輔小学校 (次に近)

備考: 朝早く起きて出かける  
朝早く起きて出かける

災害時情報カードⅢ(土日や長期休業等) 学校提出用

このカードは、災害時や長期休業等の際に提出します。必要な場合は、提出してください。

ご家庭で平安を守るために頑張ってください。(2部作成) (1部作成) (2部作成)

学部名 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

【一次避難】 家庭内及びグランドや公園の指定一次避難場所  
家庭内で気を付けること(寝る場所や家具の固定、ヘルメット等)  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

【二次避難】 家庭外及びグランドや公園の指定二次避難場所  
家庭外で気を付けること(寝る場所や家具の固定、ヘルメット等)  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

【三次避難】 家庭外及びグランドや公園の指定三次避難場所  
家庭外で気を付けること(寝る場所や家具の固定、ヘルメット等)  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

避難場所の名称や位置点(公園や小学校など)  
車で十分に點検してから提出をしてください。

前へ 后へ 選択

おばあちゃん おかあさん おじいさん おとうさん

前へ 後へ 選択

前へ 後へ 選択

災害時情報カードⅡ(登下校)

このカードは、災害時や長期休業等の際に提出します。必要な場合は、提出してください。

【一次避難】 家庭内及びグランドや公園の指定一次避難場所  
家庭内で気を付けること(寝る場所や家具の固定、ヘルメット等)  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

【二次避難】 家庭外及びグランドや公園の指定二次避難場所  
家庭外で気を付けること(寝る場所や家具の固定、ヘルメット等)  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

【三次避難】 家庭外及びグランドや公園の指定三次避難場所  
家庭外で気を付けること(寝る場所や家具の固定、ヘルメット等)  
車で十分に點検してから提出をしてください。(2部作成)  
名前 小 中 高 児童生徒名 \_\_\_\_\_

保護者の勤務地において、震度5弱以上の地震が発生した場合には、  
・勤務先市町村名 ( )  
・勤務先名称 ( )  
・その他の希望等 ( )

電話番号 ( )  
070-30090-700  
0475-

行くところが無からず 周りの人々の迷惑を考え無からず  
自宅しか考えられません。次に車の中です。  
車から出たら迷子になってしまいられるからね。被る服

食器棚の扉が慣れて開かなくなったり落としてしまう。  
IHコンロは窓ガラスアーチ型を張ってから飛散防止につなぐ。  
灶を使わず IHコンロへコンロに変えます。  
オフも都市ガスで下のみエコ給湯設備にてオール電化になります。  
屋根に太陽光パネルを設け、日中から少しの電力は確保出来ます。1300kWh  
家は鉄筋建築で震度7クラスまで耐震化します。  
10mごとに三重の壁があり、床裏、自分で壁に登れます。(三重構造)  
飲み物 食べ物 日用品 オリヅカ からつかふつ 多めに備蓄する。

## 全体キーワード

### コミュニケーション



お互いの名前を フェイス・トゥ・フェイス  
あいさつは防犯にもつながる

## 7/12 自主通学生徒集会①

じぶん いけん い  
自分の意見を言おう！  
とも いけん まな  
友だちの意見から学ぼう！  
なつ さいがい かんれん  
～夏休みや災害に連絡させて～

## 卒業後の進路先で求められるもの

- 人間関係の形成やコミュニケーションについて進路タイム(自立活動)で学習し 普段の生活やその他の学習で活かす
- あいさつは 全てにつながる 学校安全や防犯にもつながる 月の初めには児童生徒会が「あいさつ運動」をしている

自主通学生徒集会を  
進路タイム(自立活動)で  
「まずは お約束の 緊急地震速報」



上級生はさすが  
この教室は中空通路





議論会で意見交換会



災害力などを学ぶ教科書

- 災害の影響力（津波、高潮、土砂崩れ、風雨など）
- 災害物防護技術力（避難、火事・水害対応等）
- 「修学旅行で学ぶべき災害知識力」（地図、地形、気象、天候等）
- 「災害の解決方法」（避難、火事・水害対応等）

### 災害（灾害力）と教科書

- 班隊【案件を守り 議論会で意見交換】
- 「第一班隊長」「第二班隊長」
- 一人一人が自分の考えを持ち、話し合った結果を提出する
- 他人の意見を尊重する
- 『案件之一』
- 『案件之二』
- 「江北市正解答案」

- 防災力
- ↑
- 防災想像力
- ↑
- 必需想像力
- Disaster Imagination Game
- 灾害図上訓練DIG

### 防災力・防災想像力

昨年国際先生の教科書題の单元方  
後輩たち教える方法

これは？



- 沿岸部は海から ガラスが少なく 鉄筋の建物へ

これは？



- 車の中は安全だが 傘 金属類 木の下

これは？



- 川の近く 崖の近く

これは？



- 目と肺 マスク コンタクトは外す 自転車は

## 自主通学生徒集会② 高等部 2学期 12／19

- ☆いつものやくそく
- 自分の意見をもつ そして話す
- 他の人の話を聞く

### 今日の学習

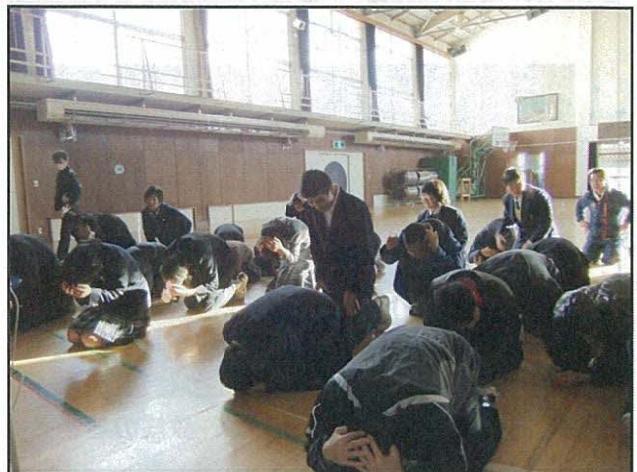
#### ○グループをつくる

- ・通学方法ごと
- ・学年は まざって
- ・3~5人
- ・リーダーを決める

#### ○見て 考える

- 行動しながら 考える
- 冬休みに向けて

おーちてこないー  
たーおれてこないー  
いどうしてこないー  
いのちをまもる！  
あたりまえー あたりまえー  
あたりまえぼうさい！！  
「みんなでやってみよう♪」

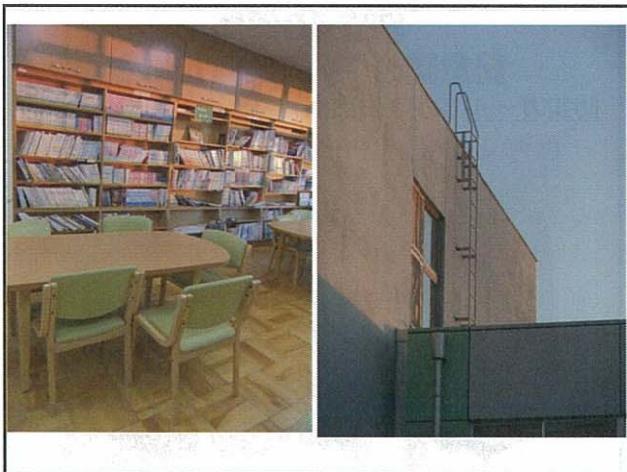
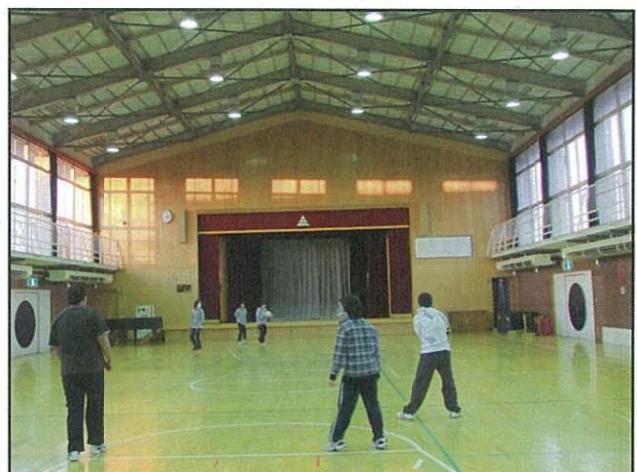


おもいだして  
みよう



写真を見て  
あぶないところを考えよう





**緊急地震速報が流れた  
小さい揺れを感じた とします**

- ・そこから3秒で考えながら行動し  
地震に備える

- ① 3 2 1 スタート(笛)
- ② グループ毎に  
ステージ トイレ 入口 中央 倉庫 に  
分かれます 3 2 1 スタート(笛)
- ③ グループ毎に発表しましょう



## 冬休みに

- ・海岸で 地震がきたら
- ・高層ビルで 地震がきたら
- ・ゲームセンターで 火事になったら
- ・ゲームセンターで からまれたら
- ・車に乗っている人から 声をかけられたら
- ・電車に乗っていて 気を付けること（急ブレーキの時）
- ・自転車に乗っていて 気を付けること（してはいけないこと）

「ほうれんそう」の確認  
何かあったらどうする？

ひとりのときは？？  
みんなでいるときは？？

## 特別支援学校の児童・生徒たち 大きな災害があったとき いつか必ずくる災害に向けて

- すぐに助けに行くことはできないけれど 大変なことがあったことを ずっと忘れずにいることができる
- 自分のペースで 備えにつながるものを作り続けていくことができる
- ぼくたち わたしたちのことを知ってもらい 取り組み続けることで 地域や行政も

実践の広がり

## 創立40周年 記念誌とクリアファイルにも 防災ガール(2月 生出演)



## 4/28 読売新聞

- 千葉県教育委員会が作成  
・学校向け  
　地震防災マニュアル  
・障害を抱える  
　児童生徒について  
　症状別に対応を記載  
「特別支援学校にも  
広がる防災教育」  
ということで  
本校が紹介



## 8/25 読売新聞

- ・生徒による東北訪問や「東金地域防災教育ネットワーク会議」の立ち上げを紹介



合同避難訓練や教育会議

## 千葉教育大賞 最終選考でプレゼンへ 12/5 残念でしたが発表頑張りました



## PTA保護者が主催した 防災をテーマとした地域との交流

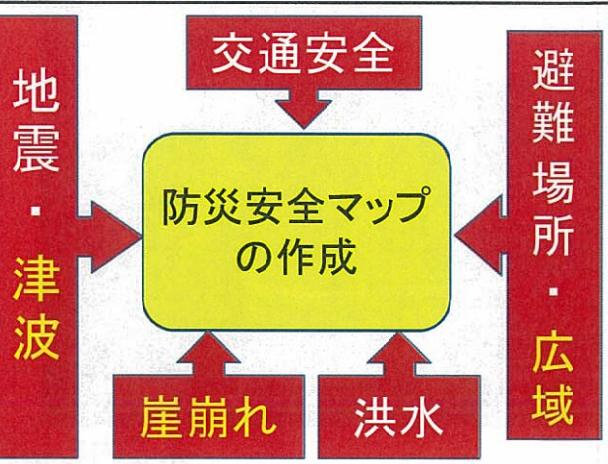
- ・消防団の操法訓練を 全員で見学
- ・地域の子供会 ボランティア部会 長寿会
- ・地域の消防団 市役所総務課消防安全係
- ・本校児童生徒保護者 職員
- ・福祉避難所をイメージしてグループ分けできることを分担して
- ・九十九里版津波避難に関するガイドライン(平成24年3月)統一された避難者カードで受付し 炊き出しと避難所開設

発表内容抜粋

## 子どもたちが自立しようとする 意欲や元気を引き出す

- ・自分たちで見て聞いて感じたことを  
自分たちの表現で伝える  
　北之幸谷区の防災安全マップ作りから  
　元禄地震の大津波の供養碑見学へ  
　今年度は 東北へ そして旭市飯岡へ  
　そこから いろいろなつながりができる  
　仮設住宅シスターズ＆ボーイズとの交流へ  
　12/18 長寿会も招き北之幸谷公民館で

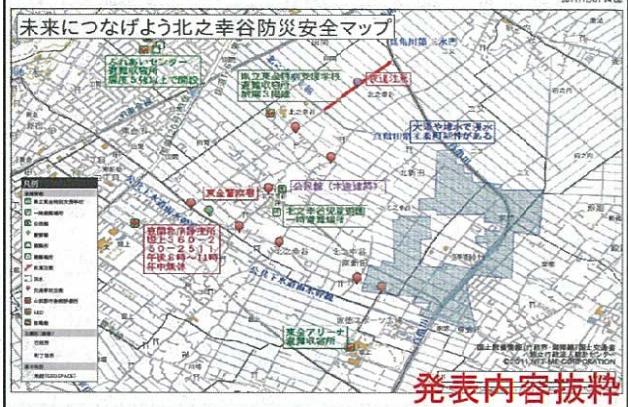
発表内容抜粋



## 「未来につなげよう北之幸谷 防災安全マップ」



## 防災安全マップ①北之幸谷区



## 防災安全マップ②広域 津波・崖崩れ



## 宮城県・岩手県の学校訪問 伝える



## 飯岡仮設住宅のシスターズ♪12／18交流



## 旭市飯岡訪問の感想から

仮設住宅は 部屋は7畳半で予想よりちょっと広かった 冬はすごく寒いし夏になれば虫や蛙が入ってくる話を聞いて 暮らすのに大変だと思いました

飯岡中学校では 校舎の壁に津波の跡があり 腰ぐらいあって本当にビックリしました 津波のせいで 駐輪場が壊れたりロッカーにさびがあつた

**僕は これらを見て聞いて本当の地震 津波の怖さ 恐ろしさを知りました**

**発表内容抜粋**

## 防災をテーマとした全校集会から 助け合う共助の姿が

- ・全校集会は毎回、小学部と中学部、中学部と高等部というように姉妹学級を組んで交流をしている。
- ・姉妹学級グループに長寿会の方を加え、避難グッズを校内に探しに行く。小学部と高等部が手をつなぎ、長寿会の方と本校の児童生徒が手をつなぐ。
- ・緊急地震速報が流れるとき、廊下や階段にいたグループは、その場にしゃがんで頭を守る。高等部の生徒が小学部の生徒の頭を押さえながら自分の頭も守ろうとする姿があった。
- ・また、教室にいたグループは机の下にもぐる。中学部の生徒が自分の頭を押さえながら、隣の机の椅子を出して、長寿会の方を招き入れていた。

**発表内容抜粋**

## 創造性やユニーク度①

《平時に地域のためにできること》

小学部等が授業で使っているパーティション

高等部の美術で作成

有事の時には避難所で使える

自分たちも落ち着く

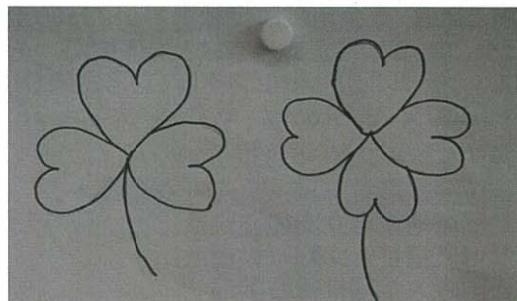
あんしんできるデザインや色で

自分たちの作ったものが役立つ

防災・安全マップもその一つ **発表内容抜粋**

## 【社会貢献型の防災教育】

「クローバーは描きやすいし、四つ葉のクローバーが見つかると幸せな気持ちになると思ったから」



**発表内容抜粋**

- ・昨年の夏に聞いた 釜石の子たちの思いから『今日ここで分かち合ったものを、それぞれがまた別の誰かと分かち合いを広めていくこと。そうやって語り継がれたものがいつか、また誰かの命を救うかもしれない。』

- ・「私たちが作った物が災害時には役に立つと思うとうれしい。」誰かの役に立つということは 社会の役割を担うことになる 特別支援学校の児童生徒が役割を担えるようにすることが 大人の教師の責務 使命である それが子どもたちの自立に向けての第一歩

**発表内容抜粋**

## 創造性やユニーク度②

・総合的な学習の時間 欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞に応募 書類審査を通り二次予選でテレビ局へ タイトルは「東北パフェ」釜石東中が作成した「てんでんこレンジャー」を参考に防災劇(作成中 12/18に発表♪)

- ・防災ガール(縫工班の作業学習で防災リュック等) 防災ボーイ(防災ピクトグラムで 避難場所の明示 頭を守ること等の避難行動)
- ・COWCOW「あたりまえ体操」の替え歌  
ぼうさい編♪株式会社吉本音楽出版から許諾(作家及びCOWCOWさんからOK)

【自分たちで創る楽しい防災教育】 **発表内容抜粋**

## 自立が困難な子どもたちの支援①職員

- 火災、津波想定の避難訓練後に頭を守ることの実態調査を行い、実践を振り返る中で、防災頭巾ではなくヘルメットの方が有効であることが指摘され、車椅子にはヘルメットが備え付けられるようになった。防災の専門家の意見からもヘルメットの有効性は指摘されているが、実践の反省から職員の主体的な取り組みとしてヘルメットを備えることになったことは、防災教育の大きな成果である。

発表内容抜粋

## 自立が困難な子どもたちの支援②家庭

- 東日本大震災発生時、児童生徒は下校途中であった。通学途中の災害時の避難場所、土日や長期休業中に災害が起った時の安否確認方法について、災害時情報カードの作成を保護者に依頼した。家庭における防災教育のきっかけになった。
- 不可欠な 共助・公助 そのために情報の共有と発信を目的としたネットワーク

発表内容抜粋

## 自立が困難な子どもたちの支援③公助

- 「防災ユニバーサルねっと」の構築 情報の共有と発信 東金地域防災教育ネットワーク会議(小、中、高、特別支援学校と関係機関) そこに... メール配信サービスをしている企業(ドリームエリア まちcomi) 幼稚園 大学
- 継続的なヘルプカード推進会議から 災害時要援護者支援ネットワーク会議へ 山武圏域地域自立支援協議会 山武健康福祉センター(保健所) 城西国際大学福祉総合学部

発表内容抜粋

## 一人ひとり一つひとつを 大切にした取組 <進行中>

- パーティションやピクトグラムに採用された絵
  - でも安心、かわいい、落ちつく、やさしい思いをもって描いた
  - 一つの絵本にしてみようか
- ベニヤ素材のパーティション 小学部サイズは115 残った板は
- 幼稚園児にピッタリサイズ ままごと遊びに秘密の部屋に
- 児童生徒が住んでいる 学区の九十九里町の幼稚園が困っている...

発表内容抜粋

## 書籍内で本校の取り組みを紹介

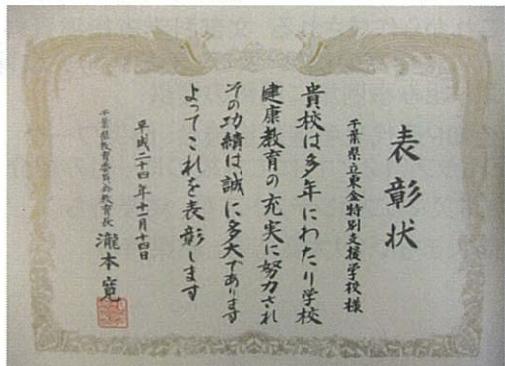


- 「安心・安全な場を創ろう」  
第3章  
学校・地域における  
特色ある取り組み  
・全国特別支援学校知的  
障害教育校PTA連合会  
ジアース教育新社  
【課題の中に】  
ヘルプカード推進  
ネットワークづくり

## 特別支援教育の実践情報 明治図書 特別支援教育研究 東洋館出版社で紹介



## 平成24年度 千葉県学校健康教育 優良校（安全）として表彰



## 1. 17防災未来賞 ぼうさい甲子園

主催：兵庫県、毎日新聞社、(公財)  
ひょうご震災記念21世紀研究機構

## 平成23年度 「だいじょうぶ賞」

安心・安全なまちづくりを目指す「だいじょうぶ」キャンペーンにちなんだ賞で防犯活動にも応用できる取り組みを対象にいただける賞。

## 平成24年度 高校生部門「奨励賞」

毎日新聞  
2012. 12. 12

あたりまえ体操に  
いたるまでの流れ  
（1）芸人COWCOWの  
「あたりまえ体操」を  
実施し、避難所で使う  
練習入りの間仕切りなどを  
作り、現在、お笑いアーティストも作った。  
（2）東北で被災地で学んだ防災知識を盛り込んだ替え歌を作り、自分たちで考えた振り付けを練習している（写真）



ぼうさい甲子園

## 2特別支援学

「東金」に奨励賞

学校や地域の優れた  
防災教育・活動を表彰する「ぼうさい甲子園」が、毎年、県立別支援学校（鶴田町）（1・17防災未来賞）が主催される。今年度は、東金特別支援学校（校長）が、審査員に選ばれた「い賞」に輝いた。

## 河北新報 防災・減災のページ 1. 11掲載



いのちと地域を守る 毎月11日掲載

■子どもの防災意識  
養うユニーク教育  
あたりまえ体操に入れた  
東北の言葉を東北に届けることができた！！  
イラストの元になつた動画は河北新報HPにアップされました！



お笑いネタ活用 心構え体で覚える

あたりまえ防災の歌詞  
あたりまえ～あたりまえ～あたりまえおさわい～  
地震のときは～（がんじんね～！）  
あたりまえおさわい～（あたりまえおさわい～）  
あたりまえおさわい～（あたまをせわ～）  
あたりまえおさわい～（ほかく！たかく！）  
あたりまえおさわい～（ほかく！たかく！）  
あたりまえおさわい～（ほかく！たかく！）  
あたりまえおさわい～（ほかく！たかく！）  
あたりまえ、あたりまえ、あたりまえぼうさい  
（ぱいぱい～）

## あたりまえ体操防災バージョン



河北新報社  
がイラストを作成しネットで紹介！！

2013.1.13  
Facebookで  
たくさんの  
シェア  
いいね！！  
Twitterでの  
評判もよく、  
「さっそくわ  
子に」という  
つぶやきも♪

## 千葉テレビ取材 チャレンジプラン報告会に向けての 練習の様子を放映 2013.2

- きっかけは 公民館で行った長寿会と仮設住宅の方々との交流
- 地域交流に 防災というテーマスパイスを軽くふりかけると こんなにも素晴らしいなるのだと思いました 仮設住宅を追っかけてきた見たテレビ局の方が その様子を見て本校の紹介をしてくれることになり チャレンジプラン報告会に向けて練習しているところを放映してくれました

## その他

- これから作成される 文部科学省指導資料作成に指導案の提供 及び 千葉県防災教育取り組み事例集に原稿の提供
- 全知P連代表者連絡協議会 防災ワークショップ(12/1)にて本校の取り組み紹介
- e防災マップコンテスト応募 結果待ち
- 防災まちづくり大賞応募 結果待ち

2012.12.15	日本臨床発達心理士会 千葉支部東上総地域研修会 <b>特別支援学校における地域と連携した防災教育 ～心理学の視点から見直してみる～</b>
2012.11.18	千葉県災害対策コーディネーター講座 <b>災害時要援護者対策の取り組みについて ～特別支援学校における地域と連携した防災教育～</b>
2012.12.26	岡山県防災教育推進講習会 <b>一人ひとりを大切にする防災教育 ～地域との連携を深めながら～</b>



防災教育=防災の日常化 に向けて	
• 高等部3年生	特別活動 新春カルタ大会 カルタのネタは東北に行った 安井君が作成 みんなの特徴 をよくとらえています
○防災がメインの取り組みではないが	日常の取り組みに 防災をテーマとしたり 防災を視点とした活動が入ってくるようになった



2013.1.16 毎日新聞

## 東金特別支援学校 奨励賞受賞「励み」

兵庫・こうさい甲子園表彰式



表彰状を受け取る県立東金特別支援学校の関係者=神戸市中央区で、山崎一郎撮影

「生徒らの頑張りが評価されうれしい」。神戸市の兵庫県公館では1月開かれればうまい甲子園表彰式・発表会に、県内から高校生部門で奨励賞を受賞した県立東金特別支援学校（東金市）が、同校では防災訓練を繰り返し実施している表彰状を手渡す取った顔

## 小学部の音楽♪に出前授業



2013.1.18 片貝幼稚園と生徒会が交流



## 「防災合同学習」

- 伴奏は ピアノが得意な生徒の協力を♪
- 園児の心をつかむためには 見た目がだいじ！
- おそろいのTシャツ 防災リュック ヘルメット！



パーティションとあたりまえ防災♪  
を届けました  
ままごと遊びやかくれんぼに使って

保護者あて文書を配布  
家庭で防災について  
考えるきっかけに



# 「あいまえ防災プロジェクト！」あいまえ体操が届け隊♪



千葉県立東金特別支援学校 学校祭「やまもも祭」テーマソング♪

作詞：東金特別支援学校のみんなと児童生徒会 作曲：千葉 晃

かうた ぼうさいきょういく

**替え歌「防災教育チャレンジプランテーマソング♪」**

※この替え歌は、東金特別支援学校の許諾を得て作成しています。

て

手をつなごう みんなで

おお ひと わつく

大きな 一つの輪を作ろう

げんき ちゃれんじ えがお ちゃれんじ

元気に チャレンジ 笑顔で チャレンジ

みんなで ぼうさい

らいばる あつ ぱ ぱりすべくと

ライバル たくさん集まって パくってパくってリスペクト

きみ き きずな ふか

君のやる気 もっともっと 絆を深めよう

ばん ゆめ

ごえ

【②番】みんなの夢が あつまって いのちをまもって わらい声

ほんき

あ

みんなの本気 もっともっと ちからを合わせよう！

て

手をつなごう みんなで

おお ひと わつく

大きな 一つの輪を作ろう

げんき ちゃれんじ えがお ちゃれんじ

元気に チャレンジ 笑顔でチャレンジ

あたりまえ ぼうさい